

予算特別委員会 産業建設分科会 記録

開会年月日	令和6年3月1日
開議時刻	午前9時56分
閉会時刻	午後3時07分
出席委員名	◎福井輝夫 ○三野泰嗣 上村和生 北村 勝
	野口佳子 品川幸久 宿 典泰
	藤原清史 議長
欠席委員名	なし
署名者	上村和生 北村 勝
担当書記	森田晃司
審査案件	議案第2号 令和6年度伊勢市一般会計予算（産業建設分科会関係分）
	議案第6号 令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計予算
	議案第7号 令和6年度伊勢市土地取得特別会計予算
	議案第9号 令和6年度伊勢市水道事業会計予算
	議案第10号 令和6年度伊勢市下水道事業会計予算
説明員	市長 副市長 ほか関係参与

## 審査の経過並びに概要

福井会長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、「議案第2号 令和6年度伊勢市一般会計予算中、産業建設分科会関係分」の土木費から審査を再開し、付託案件すべての審査を終わり、暫時休憩の後、会長報告文について正副会長に一任することで決定し、閉会した。  
なお、詳細は以下のとおり。

開議 午前9時56分

### ◎福井輝夫会長

ただいまから、予算特別委員会産業建設分科会の継続会議を開きます。

出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

会議録署名者は当初決定のとおりです。

それでは、前回に引き続き、款9土木費から審査を行います。

予算書の104ページをお開きください。

土木費については、項2道路橋梁費、項3河川費及び項5都市計画費については目単位で、その他の項は項単位での審査をお願いします。

なお、土木費は、全てが本分科会の所管となります。

それでは、項1土木管理費について、項一括で御審査をお願いいたします。

### 【款9土木費】《項1土木管理費》

### ◎福井輝夫会長

発言はありませんか。

北村委員。

### ○北村勝委員

おはようございます。

大事業の4番の地籍調査推進事業についてお聞かせ願いたいと思います。

前々から少し進捗、進み方というのをお願いしながら進めていただきたいということで聞かせていただいているわけなんですけれども、伊勢市全体で、今年度、今現在までの地積調査の終了した部分の進捗状況についてまずは教えていただきたいと思いますが、よろしくをお願いします。

### ◎福井輝夫会長

用地課長。

### ●田端用地課長

3月末の予定でございますけれども、9.7%、それと優先実施地域の進捗率でございますが、51.21%でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

全体というのは伊勢市全体で9.7%、それで優先地域、D I Dにおける市内で居住地域として優先する区域ということで51.1%。

◎福井輝夫会長  
用地課長。

●田端用地課長

失礼しました。51.21%です。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

はい、分かりました。

そういうことで進めていただいて、今年度、事業を進めていただくわけなんです、どのような形で計画をされて進捗状況が進むのか、少し加えて教えてください。

◎福井輝夫会長  
用地課長。

●田端用地課長

令和6年度の新規の着手区域でございますけれども、岡本地区をやっております。それと、後ほど審査いただきますけれども、R5の補正で御菌町の高向を新規でやっていきます。それと、今年に引き続きまして、神久、古市町、久世戸町、尾上町、倭町地区をやっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

そういった地域をしていただいて順次進めていただいているわけですが、今言っていた地域は計画どおり進みますと何%増えるのか、進捗するのかということで、1年分の計画を教えてください。

◎福井輝夫会長

用地課長。

●田端用地課長

来年度が終わりますと予定では9.97%、それと優先実施地域では52.36%でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

そういったことで、いつも年度末、年度補正で今回もつけていただいているのが、審議はここでするものではないんですけども、9,681万円ということで、ここ数年間、市長、副市長をはじめ当局の尽力もあって進めていただいているということで、非常に感謝するわけでございます。

今年度進めていただく中でまた割合が増えると。ただ、やっぱり昨今、ちょっと災害がありまして、今聞かせてもらった地域以外に、今後、津波、そして沿岸地域も含めて、まだまだ進捗がもっと早くならないかなと、まださらなる加速をお願いしたいなど期待するわけでございます。そういった部分でもっと早く、もう少し加速度的にできる方法というのが検討されていたら、ひとつお聞かせ願いたいと思います。

◎福井輝夫会長

用地課長。

●田端用地課長

進捗につきましては、2つ課題がございまして、財源の課題と人員の課題ということがあると思います。

財源の課題につきましては、国の重点実施区域を精査しまして、そのとおりになるべく補正予算も含めまして大きく獲得していくということ、それと人員の問題については、なかなか人も増えない状況であるものですから、2項委託といたしまして包括委託がございしますので、それを有効に活用して進捗したいと思います。以上でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

予算の取り方をいろいろ工夫していただいているということで、さらなる状況を見ながら、予算取りをしっかりしていただいておりますということと、以前から進め方といいますか、内部の測定の仕方ですら早くないかなとかならないかなというふうには思っています。

したので、またそういうことも検討していただきながら、ぜひ早く進んでいただけると期待しますので、よろしく申し上げます。以上で。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。  
品川委員。

○品川幸久委員

私も地積調査のところで聞きたいんですけれども、どうですかね、かれこれ15年ぐらい前にお聞きしとるんですけれども、四日市市とか、ああいうところは、下水の工事に入るときにまず地積調査を先にやって、それから工事に入るということをずっとやられています。ということは、後からもうこのところには何が入るとるか全部分かるので、水道管を割ってしまうような事故もないしというようなところで、まずそういうところに入るときに全部やってから入るというようなことを前1回質問したことがあるんですけれども、今の現状は一体どうなっておるのか、お聞きしたいなと思います。

◎福井輝夫会長

用地課長。

●田端用地課長

今は下水道の事業区域について、先ほど申しました御菌町高向地区以外は下水道事業と連携してやっております。以上です。

○品川幸久委員

分かりました。ありがとうございます。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。  
他に御発言はございませんか。  
宿委員。

○宿典泰委員

お二人から地積調査の話がありました。これについても課題を2つ挙げられて、財源というのはもうもちろんそうだと思うんですけれども、人的な配置というのか、人員の確保というのが非常に大事やということは、もう常々私も申し上げておる話なんですけれども、庁内でやれることというのはある程度限られてきます。

そういうことになると委託をするということ、外注、アウトソーシングということが非常に重要になってくると思うんですけれども、そのあたりの関係で、非常に人的配置ができない部分がそちらにも及んだのかどうかということにはちょっと我々には分かりません。

ある程度絞り込みをしたものをアウトソーシングするというようなことである程度図ら

れるのではないかなと、こんな気がするんですけども、その点、お答え願えませんでしょうか。

◎福井輝夫会長  
用地課長。

●田端用地課長

今は国土調査法の2項委託というのがございまして、ほぼそちらのほうで外注をしています。ですので、うちのメンバーは5人でございますけれども、そのメンバーである程度、1年間できる範囲ということで、今年も大きく予算を上げております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

聞いたように、5人でこれだけの広範囲のところの、一部アウトソーシングするまでの事務処理が相当あって、調査仕事があって、その調査仕事も全部外注できればそれにこしたことはないと思うんですけど、なかなか人的配置というのは市長のほうからの手当てがないとできないと思うんですよ。そのあたりは、課として要求を人事のほうにやっていただきたいなと、こんなことを思います。

それと、やはり今回の補正と予算の違いというのか、補正のほうで9,800万円から上がってきて、今回、当初予算が570万円というのはちょっといびつなことが起こってるわけですけど、多分この令和5年度の補正でいただいた分も令和6年度に消化をしていくということになるんですけど、そのあたりの財源としてきちっともらえたわけですけども、順序よくいくものなのかどうか、ちょっと確認をしたいと思います。

◎福井輝夫会長  
用地課長。

●田端用地課長

今年度も令和4年度補正で7,800万円ほど上げておりますけれども、今年度しっかり終わる予定でございますし、来年度も9,800万円を頂いたとしても、来年度中に終われる予定でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

大変それは安心をしました。ですので、人的配置のほうだけ、いろいろ課題もあると思

いますから当局と折衝をしていただいて、1人でも2人でも人員の増ができるように話を  
していただきたいと思います。

もう一点、用地関係のことでお聞きしたいんですけれども、何かシステム改修をする  
ということをお伺いしました。どういった形でのシステム改修なのか教えてください。

◎福井輝夫会長  
用地課副参事。

●廣用地課副参事

今回の予算要求の用地関係一般事業の中で、私どものほうで日頃使っております伊勢市  
境界確認のシステムのほうを令和7年度から更新を行いたいところで、この令和6年度中  
に業務委託をして、令和7年度からの更新を行っていききたいと、このように思っており  
ます。

このシステムにつきましては、申請者のほうから申請が出た際に、過去の境界記録であ  
るとか資料であるとか、そういったものを確認した上で、境界確認の業務に当たるための  
システムとして過去の資料を入力しているものでございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

過去の資料というのか、そういう積み上げのものも全部システム化するということで、  
大事なことだと思うんですけれども、せっかくのシステム改修ということで、もう一点お  
聞きしたいんですけれども、結局は民間のほうの事業でいうと、測量士であったり調査士  
であったり、我々行政書士というような仕事をしておる者もそうですけれども、境界確認  
の仕事はたくさんあるんですね。そういったものは、外部からアクセスをして取り込むと  
いうようなこと、確認できるようなことというのはシステムになっておるんですか。

◎福井輝夫会長  
用地課副参事。

●廣用地課副参事

現在のシステムに入力しているものとしたしましては、私どもの境界確認の記録、また  
申請書等の記録、こういったものを画像データで読み取ってファイリングして、それをま  
た確認した上で事前の準備を行うといったものでございます。外部のほうからオープンデ  
ータというような形で見られるような形となっております。

ただ、ここの入力の中身というのは個人的な情報もありますし、また個人的な情報であ  
れば、それを全く外部からでも見られる形にするというのも検討する部分はあると思いま  
すので、そういった個人データで出せるもの、出せないもの、またそういったものを仕分  
けた上で出すことができるかできないか、そんな技術的なこともあると思っておりますの

で、そういった整理する点は多々あると思いますので、今後、そういったところも研究してまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

今の話だと非常に難しい状況に思いますけれども、実際は、今の業務としては、用地課の窓口へ行って、そのデータをプリントアウトしてもらってというようなことに実はなっていて、外部からアクセスをして取り込んでもできるというような状況のことというのはそんなに難しいことでもないし、境界確認で今言われた個人情報として出してはならん情報というのはもうほとんどないと思うんです。

法務局へ行けば、公図の調査をして、その公図の土地の地番から何から、所有者が誰であるかというのはもう全部取れますので、今言われるような何か個人的な情報でそこにアクセスできないという理由にはならないと思うので、今の状況のことを思えば、ちょっとシステム改修のときに同時にそういったこともやれると私は思っておりますけれども、もう一度お答え願えませんでしょうか。

◎福井輝夫会長  
用地課副参事。

●廣用地課副参事

現在、この予算に計上させていただいておりますのは、今の形で過去のデータ等をファイリングするというふうな形で考えております。

また今後、より利便性の高い境界確認のほうのシステムを考えていく際には、そういうようなことも研究した上で、他市の状況も確認した上でまた検討してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

何度もしつこいようで申し訳ないんですけども、実際、今の行政側の情報をいかに民間の者が利用できるかということで、それはもう本会議場でもいろいろと質疑がありましたよね。できるだけオープンデータとして市民の方が利用できるようにやっていくということの方向だけはきちっと見定めてやっていただきたいと思います。

◎福井輝夫会長  
よろしいですか。  
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、項1 土木管理費の審査を終わります。

次に、項2 道路橋梁費、目1 道路橋梁総務費について御審査願います。

道路橋梁総務費は、104ページから107ページです。

《項2 道路橋梁費》（目1 道路橋梁総務費） 発言なし

◎福井輝夫会長

それでは、発言もないようでありますので、目1 道路橋梁総務費の審査を終わります。

次に、106ページの目2 道路維持費について御審査願います。

（目2 道路維持費）

◎福井輝夫会長

御発言はございませんか。よろしいですか。

宿委員。

○宿典泰委員

道路維持費のところでは何か伊勢市のトンネルの長寿命化の修繕計画というのが立てられておいて、これによると令和6年度に2つのトンネルの設計をするということになっておるんですけども、ちょっと1億8,400万円の使い道だけ教えていただけませんか。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

トンネルのほうの長寿命化計画の中では、令和6年度に設計しまして、その後工事に入っていくというような計画になっておりますけれども、実は今年度、令和5年度に5年に一度の定期点検をさせていただきました。その中で、早急に対策が必要な健全度Ⅲというものを秋葉山トンネルの防護柵のほうで見つけておりますので、そちらにつきましては、通常の道路維持修繕費の中で改修をさせていただいておるところでございます。

そうしますと、点検Ⅱが残る形になっておりますので、令和6年度に設計となっておりますけれども、今後、日常のパトロールも含めて点検をしながら、長寿命化に沿って予防保全という形で、今後、また設計、修繕工事というのに入っていきたいと考えております。ですもので、令和6年度については、長寿命化としての予算は計上させていただいておりません。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

基盤のほうから頂いたこの長寿命化計画というのを見させてもらって今質問をさせていただいたんですけど、何か変更がある場合のこれの更新というのか、そういったものは一々やらないということで済んでいくんでしょうか。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

令和5年度に定期点検を行わせていただきましたので、その結果に基づいて、改めて令和6年度以降の計画というのを修正させていただく予定でございますので、よろしくお願いいたします。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

特に長寿命化で出てきとるこの2つのトンネルについては、こう見せていただくと漏水対策が重点やということを書かれておるんですけど、そのようなことでよろしいんでしょうか。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

はい。基本的な修繕内容につきましては、先ほど委員仰せのとおり、防水対策、あとコンクリートの老朽化に伴う剝離の防止というものが中心的になってくると考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

(3)の通学路の維持管理補修、これは通学路のプログラムだと思うんですけども、毎年教育委員会も含めて議論をさせていただきながら、子供たちの安全・安心をとということになるのではないかなと、こんなことを思うんですけども、国・県への要望もありますから100%いくわけではないということはよく分かるんですけど、今回御質問申し上げるのは、プログラムの中でどれぐらいの数値があって、どれぐらい消化して修繕ができたかというようなことをもう知る余地がなかなかないので、そのあたりのことの説明を

してください。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

今御質問のあった通学路プログラムなんですけれど、現在、令和5年度は、昨年度いただいた要望を重点的にやっております。

令和4年度末現在で進捗が全体の約92.8%で、令和5年度まで入りますと85%で、これが全体となりますので、その中の市の対応としましては、令和4年度末現在までの要望で91%、令和5年度を含めると85%ということで、若干5年度の方も今年度は手をつけさせていただきました。以上です。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

この項だけではないんですけれども、実は新ごみ処理施設の周辺整備ということで追加していろいろ出てきておるんですけれども、それは今までの通学路のプログラムの中に載っておったところなんでしょうか。ちょっと確認をさせてください。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

はい。今現在、西豊浜町のほうで進めております通学路整備事業につきましては、昨年度、学校等のほうから通学路の関係で要望がありまして、昨年度プログラムのほうに載って今年度から整備させていただくというところになります。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

昨年度というと令和5年度ということで……

●見並基盤整備課長

すみません、令和4年度でございます。

○宿典泰委員

そうですね。令和4年度には、既に通学路のプログラムに載っておったということな

んでしょうか、確認をしてください。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事  
昨年度、令和4年度の要望の中に桜浜中学校の西豊浜15号線というのは上がっております。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員  
いろんな事情の中で、優先順位を超えて工事をするということでやっていただくのはもう結構なことだと思うんですけど、他のところでも、通学路で今まで多分こういうプログラムがあったら上がっておったのではないかなというところが、もう地元の要望も全部消えてしまったような状況のところがあって、それは多分この下のほうには出てくるんですけども……。ちょっと待ってくださいね。

この基盤の仕事としては、新たに神田一之木線というのを今回調査していくということで810万円ぐらい載っておるんですけど、多分そのプログラムの中にはなかったんじゃないかなと思うんですよ。だから、この通学路のプログラムというのは新しい仕組みでやられておるけれども、どこまで集約されておるのか、そのことをちょっと聞きたいわけですよ。ちょっと確認をしてくれませんか。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事  
この通学路プログラムは平成27年度から始まりまして、それ以前の要望ですと漏れておる場合もありますし、今お尋ねいただいた神田一之木線も令和5年度に要望としていただきまして、学校や自治会から、令和5年度の通学路プログラムのほうには上がっております、要望の中に。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員  
それは多分私も声をかけて、きちっと要望書を出したほうがいいよということで改めて出していただいたと思うんです。  
そういうところがあって、実は、前の年度の話をするとし訳ないんですけども、も

う10数年、伊勢工業のところから、印刷会社のある交差点から有緝小学校のほうへいくあの道路が狭いから、狭小やからということでもう10何年要望が出ておったんですけれども、結果的にもう諦めたような状況で今現在に至って、今やっと何かやっていただくようになったと。

いいことやと思うんですけれど、その当時の小学校の通学の人口というたらもう大変なことで、そこに高校生もおったような状況の中でやっておった時分にはなかなか手をつけられなくて今やるというのは、もうそのあたりの時代の変化に整備がついていないということ非常に僕は残念に思うわけですね。

そのあたりのことを思うと、通学路のプログラムにそういった忘れられた箇所というのがもっともっとあるのではないかなというような気がして仕方ないんですけれども、そのあたりの掘り起こしじゃないですけれども、確認できるような状況のことは当局側のほうでやれるんですかね。

◎福井輝夫会長  
都市整備部長。

●荒木都市整備部長

通学路の道路整備プログラムに関しましては、先ほど平成27年度からということでございます。そのときから、まずは学校、PTAの方も含めて、それから警察とか私ども道路管理者等々、みんなが集まって課題をまず出して、それを現地も見ながら対策箇所に上げていくというような、そういう流れでやっております。

ですもので、過去の自治会様からの要望をそのまま上げていくというような、そういうシステムではございませんけれども、通学路として課題があれば、そのときに随時上げていただければ漏れなく検討して、対策が必要であれば登録してそれをやっていくというようなことですので、今のシステムの流れで漏れなくやれるというふうに考えております。以上です。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

以前ですとたくさんの要望が来て、自治会からも上がってきて、側溝の改修や何かということをもうやられていたと思うんです。今回もこういうことで当局側にいろいろと調査させていただいたら、自治会側から上がってくる修繕であったりとか側溝改修というのは、もう非常に少なくなってきたということです。

多分そういうことになってくると通学路のプログラムというのは非常に大事になってくるのではないかなと、こんなことを思いますから、やはり前の情報をきちっと上げていただいて、集約していただいて、当然優先順位もあると思いますけれども、その中で、市内の狭小な道路であったり危険箇所というのは修繕をきちっとやっていただきたいなど、こんなことを申し添えておきます。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目2道路維持費の審査を終わります。

次に、目3道路新設改良費について御審査願います。

(目3道路新設改良費)

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。

野口委員。

○野口佳子委員

私は、この道路改良事業のところで質問させていただきたいと思います。

このところで栗野5-2号線についてお尋ねしたいと思いますが、令和6年度の事業の内容を教えてください。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

令和6年度につきましては、道路改良事業のうち栗野5号線の部分につきまして、事業用地の土地購入費、また工作物の補償費等を合わせまして、約700万円ほど計上させていただいております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

野口委員。

○野口佳子委員

分かりました。

今おっしゃっていただきましたように、その土地の購入費とかに使われるというのはどの程度なのでしょう、700万円の。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

そのうち土地購入費といたしまして約200万円となっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
野口委員。

○野口佳子委員

そしたら、その700万円ですけれども、その残りは、先ほど言っていたいただきました工作物の補償等なんでしょうか。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

はい、工作物の補償と、あと既に事業用地として買収させていただいています箇所を除草業務委託等が含まれております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
野口委員。

○野口佳子委員

分かりました。

それでは、9月の決算特別委員会でも聞かせていただきましたんですけれども、用地取得の進捗状況は件数で80%と聞かせてもらっておりますが、その後の進捗状況はどうなっているのでしょうか。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

用地取得の状況でございますけれども、以前お答えさせていただいた件数から進捗していないのが現状でございます。引き続き、用地取得につきまして地権者様と交渉を進めてまいりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

◎福井輝夫会長  
野口委員。

○野口佳子委員

ありがとうございます。

この事業も、平成28年度からでしたか、していただいておりますので、本当に大変ですけれども、あそここのところに道路をつけていただきますと、県道37号線に出るのに大変、これから防災のところとか、いろいろなところで皆さんがどこかに逃げていかないかと

きでも、その道路がなかったら坂東のほうからずっと回っていかないけませんので、何とかこの辺につきましても、大変ですけれど、よろしく願いいたしたいと思います。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。  
品川委員。

○品川幸久委員

私も道路新設改良事業のところで、桧尻川22-1号線、これは日赤のところになるうかと思うんですけれど、現在の進捗状況を教えていただきたいと思います。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

桧尻川22-1号線でございますけれども、現在のまず用地取得の進捗でございますけれども、面積で計算しますと約85%の進捗となっております。また、三重県のほうが桧尻川河川改修事業を人間道路から日赤に向かって今現在進めていただいておりますもので、河川事業に併せまして、道路整備事業のほうも引き続き進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

分かりました。

これについては、当然、私どもの地元のほうでも説明会が開かれて、平成が終わるぐらいのときまでに完成をするということと言われとって、時の町会長さんらが皆さん地元の方に説明をされて、それができなかつたというので、私どもも町会長さんにうそつき呼ばわりされとるというふうに非常に怒られとるわけなんですけれども、果たして、じゃあ、私が今どうなんやというて答えられないんですよ、何も。どこまでいっとるかというのはさっぱり分からないんで。

そこら辺のほうで、やっぱり市民の方には、大体ここまで来とつたらもう目標がつくと思うんで、何年程度でできるということを再度言っていただいて、今まで何でこんなにかかったという状況もちゃんと説明してもらわないと私どもも非常に困るんですよ、地元のことなんで。ましてその場所は命の道と言われとる日赤と直結するところなんで、そこら辺のところをやっぱり丁寧にやっていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

現在、以前説明させていただいた計画期間を過ぎておるところでございますので、今の途中経過も含めまして、また説明する機会等を設けていきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目3道路新設改良費の審査を終わります。次に、目4橋梁維持費について御審査願います。

(目4橋梁維持費)

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。  
宿委員。

○宿典泰委員

橋梁のほうも長寿命化修繕計画というものを立てられておりました、見せていただくと、今回は点検をする橋梁が96橋、対策を講じるのが5橋ありますけれども、これで合っているのかどうかということと、その対策を講じる5つの橋梁はどの位置なのか、ちょっと確認をさせていただきます。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

まず、橋梁の点検業務につきましては、計画どおり96橋を令和6年度も計画させていただいております。ただ、対策する箇所につきましては、これまでの計画の中で若干進捗等が前後した部分がございますので、来年度につきましては7橋、今現在予定させていただいたところがございます。

その中で、橋梁名で申しますと、豊浜橋、二見町の日の出橋、古市の長峰跨線橋、桜木町の桜木橋、あと城之橋、これは小俣町ですか、すみません、ちょっとまた調べさせていただきます。あと中橋、西1号橋ということになっています。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

増加したというので早くやっていただくのは結構な話だと思うんですけども、それに伴う予算化というのは相当数増やすような話になるんでしょうか。ここにも何か繰越しが随分あったかと思うんですけども、そのあたりの繰越しも含めて教えてください。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

橋梁数が増加しておりますけれども、修繕内容は個々の橋梁によって差がございますもので、一概に事業費が増えているというわけではございません。

また、来年度、長峰跨線橋の修繕工事を上げさせていただいておりますけれども、今年度繰越しになりますけれども、長峰跨線橋の橋梁部分の工事を鉄道事業者とちょっと協議しながら進めておりますもので、そちらの部分が繰越し事業になるということになっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目4橋梁維持費の審査を終わります。

次に、目5交通安全施設費について御審査願います。

#### (目5交通安全施設費)

◎福井輝夫会長

御発言はございませんか。

上村委員。

○上村和生委員

このところで、106ページ、107ページの交通安全施設費の中で、全体を通しての道路区画線についてちょっと聞かせていただきたいと思えます。

私、決算審査のときにもお話を聞かせていただきましたけれども、道路区画線については、ここ数年間力を入れてずっと取り組んでおられたということで、やっと市内もきれいになってきたのかなというふうに関心を感じておりますけれども、その維持もしていくことが大事やというようなことも言わせていただきましたけれども、令和6年度については、市道だけだと思うんですけども、市道でどれだけ引いていくのか。前年度、前々年度とか、その辺の比較も含めてちょっと教えてください。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

区画線の数量ですけれども、この事業以外でも、やっぱり通学路とか、道路舗装とか、側溝改良とかもございまして、トータルしまして約20キロメートル前後の施工量の予定で予算計上させていただきました。以上です。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

令和5年度、4年度、その前年度、前々年度とか、そこら辺もずっと教えてください。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

前年が施工量としまして18キロメートル、今年度は今現在で17キロメートルほど、まだ今発注しとる工事もございましてけれども、それぐらいで、来年度も20キロメートル程度の予算は計上したいと考えております。すみません。以上です。

◎福井輝夫会長  
すみません、何年度という年度で言っただけですか。

●濱口都市整備部参事

令和4年度が18.7キロメートル、現在施工中ですが、2月現在で令和5年度が17キロメートル、令和6年度に20キロメートル予定しております。以上です。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

はい、分かりました。

本当に道路区画線なり道路標示、また標識もそうだと思うんですけれども、ここら辺が交通ルールの基本になるところだというふうに思いますので、交通安全等々にもつながってくるのだと思いますので、ぜひとも維持をお願いしたいと思いますし、もちろん管理するのは国なり県なりというところもあると思いますので、その辺も含めて連携して取り組んでいただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いたします。以上で終わ

ります。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。よろしいですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に御発言もないようでありますので、目5交通安全施設費の審査を終わります。  
次に、目6道路整備事業費について御審査願います。

#### (目6道路整備事業費)

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。  
北村委員。

○北村勝委員

高向小俣線ほか1線整備事業で少し確認だけさせていただきます。  
まず、用地取得について、現在の進捗状況を教えていただいでよろしいですか。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

用地の取得につきまして、現在の進捗といたしましては約81%となっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

81%ということで、まだ19%近く残っているわけなんですけれども、一生懸命この後取り組んでいただいで進めるようお願いしたいと思います。

現在、河川のところに2本橋脚を建てていただいたということで、令和6年度の工事状況について、全体計画の中でどのように進められるのか、少し確認させていただきます。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

令和4年から5年度の2か年にかけてまして、御菌側の宮川の高水敷につきましては、2

本の橋脚工事のほうを完了させていただきました。また現在、昨年度、令和5年度から7年までの3か年の予定で御菌側の流水部、もう川の流れとる部分に入りますけれども、そちらに3番目から5番目の3本の橋脚を今現在築造中でございます。高向小俣線ほか1線の事業費を約20億円ほど計上させていただいておりますけれども、橋脚工事の令和6年度分にそのうち17億円計上させていただくとるところでございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

橋脚を建てていただくということで、全体が10本でしたかね、そういう中で、新年度、令和6年で進めていただくということで、よろしく申し上げます。

ただ、工事を進めていただいて、高向側、小俣側、今、土地の取得状況が81%近くということで、ちょうど道路を買収していただいて、両側、特に高向側は農振地域ということで、非常に今狭小の部分の個人のところになっているわけなんですけれども、草といますか、耕作放棄地を懸念しながら、この工事によってはそういったことも解消もしながら考えていただいているのかなと思うんですけれども、そういった認識についてお伺いしたいんですけれども、どのように考えているのか教えてください。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

事業用地以外の部分の用地なんですけれども、用地の残地の形が小さかったりとか、いろいろな形状があるのは分かっておるところでございます。その中で、農地の出入りが道路の築造の完成後も容易にできるように、のり尻のほうに通路として使えるスペースを設けるような計画はさせていただいておりますもので、どこかの私道に接するか、通路に接するかという形で耕作路を容易にできるような対策は取っていきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

耕作路で何か対応をとということで、それ以外の小さな土地でも個人の土地ということで、狭小ということで作物を栽培できる環境がない中で、当然残地補償もしていただいて、そこに市が関わっていくというのはなかなか難しい部分もあるんですけれども、そういった経過も踏まえて、そういった要因があるということで御周知いただきたいと思います。

もう一点なんですけれども、地元のほうから長期にわたる工事、10トン車がずっと往復

して工事を進めていただく中で、当然、夏の時期は休んでいただくということで、これは宮川の水の関係でその季節は少し休むということはあるんですけども、周辺道路について、農用地の道路ですので、道路の陥没、亀裂ですかね、それと排水溝が少し広がって傾いてきたということで地元の方も心配してみえるということもあるので、そこら辺も、当然施工の間は必要で、その状況があるということを知っていただきながら、先の話になりますが、工事が終了するときには、少しそういったことも起こっているということだけ認識していただきたいと思いますので、その点把握されとるかどうか、お伺いします。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

まず、御菌側につきましては、橋梁工事のほうは、先ほど申しましたように令和7年度まで行わせていただく予定でございますし、その後につきましても、道路部分の盛土工事でありますとか、橋の桁のほうの工事等にも入って大型車両等が通行する可能性はございますもので、また高向小俣線完了時には、もちろん道路の点検をさせていただいて機能回復を図りたいと考えておりますし、また、通常の維持管理の中で例えば緊急に修繕が必要な場合は、また何かしら対策を考えたいと考えております。以上でございます。

○北村勝委員  
どうもありがとうございます。

◎福井輝夫会長  
他に御発言はございませんか。  
品川委員。

○品川幸久委員  
道路整備事業のところでお伺いします。

一之木5丁目16号線整備事業のところ、八日市場高向線、これは都市計画道路に入るとるんですけども、市長のほうにも学区の人らが全部お願いに行って、当時の部長さんに頼んで、やれるところはやるというような話を聞いておるんですけど、有文堂さんのところのちょうど信号のところは非常に狭くて車の交差ができない。

ましてやそこは通学道路であるので、こここのところの事業を使って、都市計画道路という百年の計といって、変な話じゃないですけども、もう50年60年手をつけられないんじゃないのかなと思っておるんで、やっぱりできること、例えばそここのところは隅切りさえすればちゃんと道路は通れると思うんですよね。通学道路でありますので、そういうところはしっかりやってほしいと思うんですけども、お考えだけ聞きたいと思います。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

八日市場高向線につきましては、平成28年から29年にかけては、道路の整備につきまして検討業務というのを行わせていただいたところでございます。その中で、やはり隣接する建物が道路にもう接近し建っておって、かなりの建物の補償が必要になることから事業費もかなり膨大になるということで、そのまま事業化されなく、今現在休止されとる状態でございますもので、先ほど委員仰せのとおり、何かしら部分的な改修も含めまして今後の検討とさせていただきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

それから、通学路整備事業については、先ほど宿委員のほうから言われたこと、私も同じことを思っておるんですけども、私が高校生ぐらいですからもう50年ぐらい前ですけどね、あそこのところを自転車を通ったわけなんですけれど、いまだに変わっていないと。それが今回上がってきた。

一応この中で810万円ぐらいの予算がついたんですけど、今普通で考えても、この道路をどうしていくんやろうなというところがちょっと頭に浮かんでこない。例えば天理教さんのほうでしたら新しい壁も造られて、あれをどうするんやろうなというようなこともありますし、ちょっと想像がなかなかつかない。

多分もう50年60年ずっとあそこの道、もっと前からあの状態でおって、当時の子供の数といったらもう今の倍ぐらいはおって、私らも戦争のようにあそこのところを、戦争という言葉を使うといかんのかな、もう本当に車の間をすり抜けるようにして学校へ行っちゃった覚えがあるんですけど、やってくれることは非常にうれしいんですけど、どういふふうな考え方を持っておられるのか教えていただきたいと思えます。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

まず、基本的な考え方でございますけれども、あくまで今回の整備につきましては、通学路の整備ということになりますもので、車道の幅員の拡幅というのは現在考えていないところでございます。歩行者、特に有緝小学校の児童の方が通りますもので、歩行者が安心に通れる空間を確保するというのをまず目的とさせていただいておりますもので、またどちら側に広げるかも含めまして、来年度測量を予備設計の中で検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

分かりました。

どんな形になるか分かりませんが、グリーンラインが引かれるのか、ガードレールみたいなものの中に歩道をつくるのか分かりませんが、もうちょっと具体的に言っていただくと頭に浮かぶんですけど。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

今現在は外側線のところにグリーンラインが引いてあるだけの状態で、車両ともう接するぐらいのところを子供らが歩いとるというような状況でございます。

まず、車道の幅は変えずに、歩行空間として人が歩く部分を拡幅するような状況です。なので、できれば安全に通行できる1.5メートルから2メートル程度拡幅したいというような考えでおります。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

それは段差をつけるということになるかと思うんですけども、よろしいですか。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

段差は基本的には考えておりません。まして、柵なり、もしくは車止めのポールであったりとか、そのあたりで分離はさせたいと考えております。以上でございます。

○品川幸久委員

分かりました。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

伊勢市の今の道路整備については、伊勢市道路整備プログラムに基づいて進んでいます。

ということを書かれています。今の品川委員の話もこの道路整備の中にはきちっと載っておるんですけど、私、平成26年3月に都市計画審議会ですべて道路網の修繕やら改修を、また幅員の在り方やということを調べようやないかということで、市内のものをやったんですよ。

当然、その中には県道であったりとか国道との接地面もあるんですけども、実際に幾つあるんですかね。数えてはおりませんが、この中の本当に一部、1つは高向小俣線ですか、これに20億円もかけてやるという道路整備だけはこの中に載っています。しかし、ほかのまちづくりと言われる道路関係というのは何もないんですよ。先ほど神田一之木線の話が出ましたが、これも一部交通安全のプログラムとしてやるという子供たちの分だけであって、伊勢市のまちづくりに関してというのは何も予算がついていないんですよ。

僕は、今の話であると街路のほうで質問も申し上げようかなと思ったけれども、実際には聞くところによると、街路のほうではもう国の予算もつかないと、県のほうも同意ができないということなら、一体伊勢市内の道路の幅員を変えたり、通学の問題であったりとかいうようなことはどの事業としてやっていくのかなということが何も分からない。そのあたりのことというのは、少し財源の在り方も含めておかしいんじゃないかなと思うんですけども、ちょっと考え方だけ教えてください。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

宿委員の仰せの道路につきまして、まず都市計画道路という観点でお答えさせていただきます。

現在、市内の都市計画道路につきましては、総延長81.3キロメートルで29路線が都市計画決定されております。そのうち整備済みとしまして62.3キロメートルとなりまして、整備率としては76.6%となっております。その中で、市では、これまでも自動車交通量の増加とともに都市計画道路をはじめとした幹線道路の整備や改良を行ってまいりましたけれども、いまだに未整備の道路が多く、今後も道路整備が必要であるということは感じております。

しかしながら、人口減少や少子・高齢化の社会情勢の変化に伴いまして財政事情が厳しい中、効率的、効果的な道路整備を行っていく必要がございますもので、これらのことから、現在、道路整備プログラムを策定しまして、それに基づいて整備を行っていらっしゃるというところでございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

今のは形式的な話と思われまじいけれども、私、これをのぞいてみたら、平成26年に審議

会をつくったのを見てみたら、今言われた76%も完了しとるみたいな状況ではないんですね、実際には。伊勢市の新しいまちづくりとしてこういう道路を造っていこうというて汗をかいてまとめたやつですけれども、全然役に立っていない。

ましてや今、以前もお話ししましたが、伊勢市は鉄道高架で南北が分断されています。その歩道もない、駅前ですとね。伊勢市駅の駅前やろうと歩道もないんですね。どちらを表にどちらを裏にと言う人もおるかわからんですけれども、歩道さえついていない状況で、本当にまちづくりとしてこういうことが無駄になってしまうのかなということが非常に僕はもう残念でなりません。

その財源についても、国の補助をもらわんことには一つも動かんというようなことになつとるんかなと思って仕方ないんですね。そういう事業をやると、いわゆる街路ですと、街路の費用は全然つかへんのやと、もうそれやからできへんということの結果を言われとるような気がして仕方ないんやけれども、市民はそれで納得するんですかね。都市計画税も払っていますよね。

それで、その都市計画税のもうほとんどというのが下水道に回つとるだけで、都市計画道路に何にも回っていないんですね。そのあたりのことというのが不思議じゃないんですかね。僕は、もう担当課、自分が受け持ったら不思議で仕方ないんですけれど。100メートルあるところの10メートルでも改良できるんなら、そういうことをやっていかならんとは思ふんやけれど、結果的には建物の買収や、そういったことが難しくて時間がかかるから、そういった事業にはあんまり取り組まないと言われても仕方ないんじゃないかな。

何とか伊勢市内の令和6年度のまちづくりとして、またこれからお木曳行事も始まりますよね。一部地中化が始まってN T Tの近くがなりましたから、お木曳するについても随分環境よくできるかなとは思いますが、その他の地域はもう本当に全然変わっていない。こんなことでいいんですかね。

やっぱり伊勢に住みたいという人がどれだけできるかというのはまちづくりやと思うんですよ。それには欠かせないこういう市道であったり、都市計画道路であったり、渋滞を起こさない女性にも優しい道路というのがやっぱり要るんじゃないかなと、こんな気がしてなりませんけれども、そのあたり聞かせてもらえませんか。

#### ◎福井輝夫会長

都市整備部長。

#### ●荒木都市整備部長

道路整備は、先ほど委員さんもおっしゃったとおり、まちづくりに直結すると考えております。道路につきましては、様々な種類といいますか、効果のあるものであると。

先ほど来、都市計画道路に関しての話をさせていただきました。都市計画道路については、やっぱり広義的な効果のあるものであり、それがゆえに、例えば伊勢市の都市計画道路は29路線ありますけれども、ほとんどが昭和21年に都市計画決定されて、もうかれこれ80年近くたつというような長期スパンでやっておるような事業でもございます。事業費も時間もかかると。これは伊勢市に限ったことではございませんけれども。

一方で、じゃあ、それだけかということではございませんので、当然それ以外の、うち

のこの予算でいきますと、道路整備事業の中でももう少し都市計画道路よりは広域性が少し狭い道路であったり、あるいは生活道路であったり、様々な道路の用途によって整備をしておるところでございます。

ただ、いずれにしても、道路についてもやはり財源というのは大変重要なことでございますので、先ほど都市計画税の話もあって街路事業がなかなかという話もございましたけれども、例えば今やっておる都市計画道路で申し上げますと、高向小俣線は、補助を最大限活用するという事で道路事業のほうでもやっております。私どもとしても、限られた財源の中で少しでも国の予算を活用するという意味で、街路であったり、道路整備であったり、通学路であったり、安全であったり、それぞれの目的で予算も補助金も変わりますので、最大限使えるように取り組んでおるところでございます。

それでもなかなかというようなお声もいただきますし、私どももそこはじくじたる思いもございますけれども、しかし財源なくして道路整備も進みませんので、とにかくそういったところの壁をクリアして進んでいきたいと、そのように考えております。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

今の答弁を聞いておると、財源がないから新しいことはできへんみたいな話ですけども、実際もう固定資産と同じように都市計画の部分で20億円ぐらい払っていますから、市民のお金を。それをもう下水道に回してくれなんて言う市民はほとんどおらんと思うんですよ。道路整備に回してくれというのとてんびんにかけたら、もう道路整備に回してくれよと言う人のほうが多いんじゃないかなと思う。

財源の話ばかりで、伊勢市民は税金を払っていますから、いろいろと今福祉の関係で、財源が非常に福祉のほうの割合が増えてきたということはあっても、やっぱり日々の市民の生活を支えておるのは道路ですよ。道路網がきちっとされて渋滞もなく、通勤通学もできるし生活道路として成り立っておる話でありますから。

財源の話は私も大事だと思いますよ。財源がないのにやれやれと言うとるわけではないと思うので、伊勢市も500以上の事業を抱えてやるということであれば、やっぱりこの20億円程度のことが、毎年新しい道路の整備計画があったわけですから、どこからやるという優先順位はあったとしても、少しずつやっぱり解消していくというのが当局のやり方の話だと思うんです。そのあたりのことは何度も申し上げてもあれかも分かりませんが、もう一度お答えしてくれませんか。

◎福井輝夫会長  
都市整備部長。

●荒木都市整備部長

先ほど財源財源とばかり申し上げましたけれども、ただ、限られた条件の中で、とにかく、おっしゃるように、私どもも道路整備は必要と考えておりますので、効率的に、選択

と集中という形で今プログラムをつくっておりますけれども、そういう計画的に造る道路、それから生活密着的な道路については、地域からのお声もいただいてその時々で検討して対応していくというような形で、とにかく道路の環境をよくしていきたいと、そのように考えております。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目6道路整備事業費の審査を終わります。

11時15分まで休憩します。

休憩 午前11時04分

再開 午前11時13分

◎福井輝夫会長

休憩を解き、再開いたします。

次に、項3河川費、目1河川総務費について御審査願います。

《項3河川費》（目1河川総務費） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、目1河川総務費の審査を終わります。

次に、目2河川維持費について御審査願います。

河川維持費は、106ページから109ページです。

（目2河川維持費） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、目2河川維持費の審査を終わります。

次に、108ページの目3河川改良費について御審査願います。

（目3河川改良費） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、目3河川改良費の審査を終わります。

次に、目4排水路維持費について御審査願います。

（目4排水路維持費）

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。  
北村委員。

○北村勝委員

そしたら、この項の排水機場維持管理経費ということで、予算を9,903万円上げていただいています。予算の概要書を見ますと、66ページに記載がございます。

長期補修計画に基づく設計業務と補修工事を行うということで、今回は2か年と書いてあるんですけれども、具体的にどのような維持管理の予定を計画されておるのか教えてください。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

こちらの補修経費としまして、長期補修計画に基づきまして都市整備部所管のポンプ場の修繕を行っていく事業でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

この船倉ポンプ場については、以前もちょっと聞かせてもらったことがありまして、農林のほうと土木のほうと2つのポンプがあるということを伺っております。

この修繕は2か年ですということ、今回は土木管轄のほうを修繕していただくのかなと思うんですけれども、この際にどういった修繕という形になるのか、機能向上もあるのかどうかも含めて教えてください。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

今回の工事は、出力の増強ではなく施設の更新を目的とした工事でありまして、故障してから修繕では支障となりますので、機器の耐用年数から修繕時期を決定し、予防保全を行う工事でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

確認なんですけれども、令和2年に長期補修計画を立てられて、ここに船倉をはじめ幾つかのポンプ場が載っております。今回は船倉ということで、そこで機能は保全というか、事前に何かあってはいかんとということで更新をしていく修繕と理解させていただきました。

ただ、この10年の間、以前は農林のほうでもそういった保全はしてもらったんですけれども、この間、そしたら今のところそれ以後については、この2か年すれば、当然これでこの船倉というのは終わるといいう形でいいですかね。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

長期補修ですので、耐用年数が来ればまた修繕ということで、ぐるぐる施設が残る限り長期補修というのは続いていきます。

しかし、出力の増強という点ではないんですけれど、今は浸水時間やら浸水箇所の低減を行うために、池の部分のしゅんせつであったり河川のしゅんせつを行ったり、また、浸水箇所の低減ということで護岸のかさ上げなどを行って、また今回改修するポンプなんかも、状況によっては起動時間を早くかけて、なるべく浸水時間を軽減するようという努力を行っております。今ある機能を十分発揮できるように取り組んでまいります。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

確認させていただいて、当然、この補修計画の中で機能更新というのは必要で、こういった更新をしていただくということは大事な事かなと思うんですけれども、ちょうど小木川を中心にこのところ内水の、洪水がちょっとあふれ出すということで、先ほども教えていただいたように、小木川のかさ上げも今併せてやっていただくということを聞かせてもらっております。

そういったことも含めて、ここでそれ以上のことは言うことではないと思いますので、また違うところで改めてお聞きするか分かりませんが、確認だけさせていただきます。ありがとうございます。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目4排水路維持費の審査を終わります。

次に、目5排水路整備費について御審査願います。

(目 5 排水路整備費) 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようですので、目 5 排水路整備費の審査を終わります。  
次に、項 4 港湾海岸費について、項一括で御審査願います。

#### 《項 4 港湾海岸費》

◎福井輝夫会長

御発言はございませんか。  
品川委員。

○品川幸久委員

私、この港湾海岸施設管理経費のところではちょっとお伺いしたいんですけども、昨年、神社のほうのみなとオアシス伊勢を国のほうから認定されたというところで、遷宮の機運も高める、その後すぐに御幣鯛が来て非常に盛り上がったわけなんですけれど、そういうことを踏まえて、何か考えておられることがあるのかどうか教えていただきたいと思えます。

◎福井輝夫会長

都市整備部次長。

●上田都市整備部次長

令和 5 年 10 月 11 日に、委員がおっしゃっていただきましたように、みなとオアシス伊勢ということで登録されました。それによってどのようなことをやっていくかという御質問だと思うんですけども、まずはみなとオアシスを登録したことによって地元にある港を全国に PR していく、認知度を向上させる、そういったことを地元と一緒に考えていきたいと思えます。

予算については例年どおりのことになるんですが、勢田川流域の歴史を子供たちに勉強していただく夏休み子ども体験ツアーということもやっておりますので、こういった費用として上げさせていただいております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

先ほど言わせていただいたように、もう今、遷宮の機運を高めないかんということやられとるわけなんで、当然、神宮さんに御幣鯛を持ってこられるという一つのストーリーもあるわけなんで、できる限り、ちょうどのチャンスだと思うんで、そういうところの P

Rをもう少し拡大して、多分伊勢市の人でそういうことが認定されたということは知っている方のほうが少ないと思うので、やっぱりそういうことをしっかりとPRしていただきたいと思います。

◎福井輝夫会長

都市整備部次長。

●上田都市整備部次長

御意見いただきましてありがとうございます。

先ほども申し上げましたけれども、みなとオアシスの認知度というのは全国的に見てもまだまだかなというふうに感じておるところでございますので、しっかり認知度の向上に努めてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

今、品川委員からもあったんですけれども、私も1点だけ。

みなとオアシス伊勢は、3つある施設、ウッドデッキと河崎の海の駅をやっておるとか、みなとまち館というのがセットで国交省に認められたんですよね、そのほかの活動ももちろんですけれども。私も御幣鯛のときは参加させていただいておりますけれども、みなとまち館には、本来は水運を生かした木造船の船大工の関係の工具を納めたり何かしておるといようなことも聞いてはおるんです。

以前に市川造船のいろんな昔の木造船の図面や何かが出てきたというのがあって、それはもう公表されていますけれども、実際は、このみなとまち館の改修なんてことが本当は出てくるのではないかなと、こんなことを思うんですけれど、何かそういったことは話題にも載っていないんでしょうか。

◎福井輝夫会長

都市整備部次長。

●上田都市整備部次長

ただいま御紹介いただきましたように、みなとオアシス伊勢の主要施設として3つございます。そのうちの1つがみなとまち館になっておりまして、何分にも古い建物でございまして、調べさせていただきましたら、建築されたのはいつかというのもちょっと不明ということで、つまりは昭和56年以前の耐震基準の低いものというふうに考えております。

それをどのように今後していくかなんですけれども、建て替えるとか補強するとか、いろいろありますけれども、もう少し違った方向での考えとして、案ですけれども、近くの

場所に移転する。そうすることによって歴史ある造船のときの工具、そういうものが大切に守られていくんじゃないかなというふうに考えていますので、いろんなことを考えてみなとまち館については保存に努めてまいりたい、そのように考えております。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

あらかた再質問しなくてもお答えいただいたので、それでいいのかなと思うんですけども、地震もいつ来るか分かりません。そんな状況の中で、ちょっと年度も分からなくて耐震もできていないということであれば、やはり中にある伝統的な資料であったりとか文化財というようなことがいつ何どきということになってもいけませんし、雨漏りの心配もあるというようなことであるといけませんので、これはやはりきちっとした調査をかけて、移転はするにしても、するかせんかということもNPO団体との話もあろうと思いますから、そのあたりきちんと話をしていただいた上で、どういう方法を取るかということをやっていたきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎福井輝夫会長  
都市整備部次長。

●上田都市整備部次長

まず、建物については市の施設ではございませんので、NPO法人みなとまち再生グループとしっかり話をしながら今後のことは検討してまいります。よろしく申し上げます。

◎福井輝夫会長  
よろしいですか。  
他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、項4港湾海岸費の審査を終わります。  
次に、項5都市計画費、目1都市計画総務費について御審査願います。  
都市計画総務費は、108ページから111ページです。

《項5都市計画費》（目1都市計画総務費） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、目1都市計画総務費の審査を終わります。  
次に、110ページの目2まちづくり推進費について御審査願います。

（目2まちづくり推進費）

◎福井輝夫会長

御発言はございませんか。

上村委員。

○上村和生委員

まちづくり推進費、110から111ページですけれども、これの大事業1の市街地活性化事業のうち小事業、まちなかウォークアブル推進事業についてお聞きしたいと思います。

説明書等を見させていただきますと、「居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成により、都市の多様性の集積やイノベーションの創出など都市の魅力を高め、コンパクトシティの推進や中心市街地の活性化を図る」というような説明書きがございますけれども、令和6年度については、仮設のテーブルやベンチ・パークレット等の設置による社会実験を2回実施して、その効果検証を踏まえて伊勢市駅前商店街におけるウォークアブルの実施計画を策定というふうに書かれておるわけなんですけれども、このウォークアブルという言葉自体あまり聞いたことがなくて、なかなかイメージが湧かないんですけれども、どのようなことをしていくのか、もう少し詳しくお聞かせをいただきたいと思います。これについても新規の事業ということですので、その辺も含めてお願いをしたいと思います。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

ウォークアブルなまちづくりのことについての御質問です。

ウォークアブルなまちづくりといいますのは、先ほど委員のほうからお話のありましたとおり、居心地のいい空間をつくりまして、車中心の道路から歩行者中心の道路へ変化させていって、人々の滞留とか滞在時間を長くして、歩いていただくのを目的とした道路空間にしていくというようなことを考えております。そうした中で中心部のほうににぎわいを創出して、中心市街地の活性化に向けて進めていきたいと、このように考えております。

令和6年度につきましては、先ほどお話のありましたとおり、伊勢市駅前商店街のほうで社会実験を行いまして、その後、実施計画をつくっていきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

上村委員。

○上村和生委員

ここに書かれとることでは、ベンチや、何かテーブルとかパークレットを置くというだけではなかなか人の集まりはないのかな、それだけでいいのかなというふうにも思うんですけれども、その辺の中身の部分をどんなにしていきたいというのがあるらしたら、ちょっと教えてください。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

中身のことににつきましてですけれども、今、伊勢市駅前商店街の方、それから警察の方等々と協議も始めているところではございますけれども、例えば滞留スペースということで、パラソルとか、ベンチとか、机とか、そういうようなもの、4人がけぐらいのもの3つ4つを一固まりにしたもの、それをワンセットしますと、3セットから4セットぐらいを道路に配置いたしまして、休憩していただいたり、例えば食べ物を食べていただいたりというようなスペースとして使いたいというふうに考えております。

それから、あと商店街の店舗から1メートルぐらいの幅の部分を、軒先を利用できるような形にさせていただいて、あと歩行者の部分を十分確保しながら、人も車も通りつつ滞在もできるような形の空間をつくって、2度実験をしていきたいというふうに考えております。その実験に基づきまして、委託の中でアンケート等を取りまして、その効果や、それから課題について調査しながら進めていきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

分かるんですけれども、例えば具体的にといいますと、何かちょっとそれだけで本当に人に来ていただけるのかなと思うところがありまして、例えば出店であったりとか、何かお祭り事のように、例えば今はやっとなるキッチンカーが来るとか、何かそういうふうな催し等もあるともっと盛り上げられるのかなというふうに思うんです。椅子やそんなんを置くだけで本当に来てくれるのかなと僕は思ったもので、そのようなことを聞かせていただいたんですけれども、そのような人を集める何かイベント的なことも考えとるんですか。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

委員仰せのとおり、伊勢市駅側のほうはちょっと道路の広い部分もありますので、そちらのほうをイベントの広場として、商店街の方々ともいろいろアイデアを出し合つとる最中ではございます。キッチンカーを呼ぶというのも一つですし、それから、高校生の方や大学生の方、そのような若い方々の御意見も聞きながら、どのようなことをすれば駅から外宮への今起きているにぎわいを駅前商店街のほうに引っ張れるかというようなことを考えながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

はい、分かりました。

これからいろいろと考えるということでもありますので、ぜひとも地元の人と相談しながら、よりたくさんの方に来ていただけるようなことを考えていただきたいと思います。また、年に2回の実証実験ということやで、本当にお祭りのようなことで最初は集めていかないのかなと思いますので、頑張ってくださいと思います。

これは計画を立てていくということでもありますので、令和7年度以降の計画、またその後の考え方も多分あるんだろうと思うんです。広げていき方というか、そういうのはどういうふうに考えとるのか、その辺もちょっと教えてください。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

まず、令和6年度は、先ほどからお話しさせていただくとおり、実証実験をさせていただいて、実施計画というようなものをまとめていきたいというふうに考えております。

次は令和7年度になるのか、その次の令和8年度になるのかというのはちょっとまだ今のところ、これからの実験の結果を踏まえてになりますけれども、まとめさせていただいた駅前商店街の実施の計画であったり、それから、あと市内のほかのところでもどのようなウォークブルの可能性があるのかというような調査も令和6年度にしますので、そのあたりも踏まえて、ほかの商店街であったり、二見のほうであったり、そのようなことの可能性も見ながら、次のスケジュールについても検討していきたいというふうに考えております。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

分かりました。

市街地のにぎわいというのを広げていくという考え方だと思いますので、ぜひとも他の地域まで広がるように努力していただきたいと思います。

今いろいろ聞かせていただくと、今あそこは昭和通りというような名前やと思うんですけれども、今やろうとされておるようなことと昭和通りというと、私の中でですけれども、何かちょっとイメージが違うのかなというふうな思いもあります。何か名称変更の話も出るとりというふうな話もちらっと聞いたこともあるんですけれども、その辺の部分について、地元のほうから何かあるんですか。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

今、地元の伊勢市駅前商店街の方々から言われている通りの名称ですけれども、それは月ノ宮通りというように今呼んでいるような形でして、今後それを浸透させていきたいというようなお話は聞いております。

私どもの市道の名称につきましては、市道宮後1丁目1号線というようなちょっと固い名前になっていますので、愛称としては月ノ宮通りというのを定着させていきたいというようなお話を聞いておりますので、そのようなことで今度周知もいろいろしていきたいなというふうに思います。以上でございます。

◎福井輝夫会長

上村委員。

○上村和生委員

分かりました。

その辺も含めていろいろと地元の方と議論いただきまして、人が集まれる、滞留するというような地域にさせていただき、またそれを伊勢市の各商店街にも広げていただければ幸いかと思いますので、ぜひ頑張っていたきたいと思います。以上で終わります。ありがとうございました。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。

品川委員。

○品川幸久委員

私もこの項で聞きたかったんですけれども、仮設のテーブルやベンチ、先ほどの説明の中でも高校生らと一緒に話をしたいというような話があったんですけど、今いろんなところで市のほうも高校と連携しながらやっておられるということで、例えば伊勢工業の建築科の子供たちに机や椅子を作っていただくというようなことがあると、作った子供たちが友だちを連れて、これ、私たちが作ったんやということで高校生の流れもできると思うんですけど、そんな考え方があるのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

まず、令和6年度につきましては、仮設というような形で考えていますので、それはリースになろうかと思いますが、令和7年度以降、実際実施していくとなった際には、

高校生のアイデア、デザイン等、意見も聞かせていただいて、場合によってはデザインを考えていただいて形にしていくというようなこともしていきたいなというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

◎福井輝夫会長  
品川委員。

○品川幸久委員

それと、この駅前については、あそこのB地区等々ができたときからにぎわいを創出するということで、ほっといてもにぎわいが来るんやろうというふうな考え方があるんですけど、この1,900万円の予算がついたときに、私らもついてすぐに道を歩いとったら商店街の人らがたくさん歩いって、「品川さん、駅前に1,900万円つくんやけど」というような話でやっぱりやっかみの声が、ほかの商店街に伸ばしていくと言いながらも、このところは商工労政課さんのほうで頑張ってもらわなあかんのかなと思うんですけども。

やっぱりちょっとバランス的にそこがびゅっと伸びてしまうと、ほかの地域、高柳商店街にしても新道商店街にしても皆そうなんですけれども、これからこう伸びていきますよというのに非常に違和感を感じるというようなことを言われる方がたくさんおるので、そこら辺もちょっと気にしながら上手に予算をつけていただくありがたいのかなと思うんですけど、例えば商工労政課のほうでにぎわい創出でみんなの、ウォーカブルじゃなくても、動線として動かすというようなことも含めてやっていただくと非常に分かりやすかったのかなと思うので、実証実験とはいいいながらそういうことやと思うので、そこら辺だけご答弁いただいて終わるときです。

◎福井輝夫会長  
都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

お話しいただいたとおり、今回、まず駅前商店街というような形で、伊勢市駅から外宮まで今来ているにぎわいを少しでも広げていきたいということで、まず近隣からというふうに考えておりますけども、委員仰せのとおり、ほかの商店街の方々等のお話もあろうかと思っておりますので、引き続き商工の担当の部署と連携しながら考えていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

◎福井輝夫会長  
他に御発言はございませんか。  
宿委員。

○宿典泰委員

私、このまちなかウォーカブルで新しく挑戦するっていうのは、それはそれで新たな事業として、成功するか失敗するかは別としてもあれかと思うんですけども、中心市街地

活性化基本計画というのがある、その中では、こういった絡みのことというのは一つも提示をされておられません。

そこへ来て、例えばしんみち未来創造事業なんていうのがあったんですけども、これは事業としては成功を収めたんでしょうか。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

商店街の方々が集まっているいろいろとお話もしていく中で事業を進めていただいておりますので、成果としてどの程度出るとかというのはちょっと把握がなかなかできない状況ですけども、まず自分たちの商店街に対して、将来も含めていろんな話をさせていただくということは非常に大事な事かと思っておりますので、成果として出ているというふうに私どもは考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

そうすると、今の話ですと、公表できるような成果というのか、そういったことはないということで捉えてよろしいんでしょうかね。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

今、具体的に商店街さんのまとめたものが私どもの手元にちょっと来ていないという状況で、特に数字的に何か、例えば歩行者の数が上がったとか、そういうようなものというのは今ちょっと持ち合わせていない状況でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

なぜそういったことを言うかということ、先週の日曜日にちょうど津市から女性の方数人が、伊勢市でいろいろと行事があるというふうなことで二見のほうも行って、その帰りに新道から商店街をずっと行ったんですけど、もうほとんどシャッター街を歩いとるみたいな感じで本当に残念がって帰りました。

やっぱり外部の人がそういうことを感じて、その人はどういう発信をするか知りませんが、二見のほうとの違いというのをすごく感じて帰られたということですけども、

民間の人が歩いてするやつなので、AIにどれぐらい歩行数としては出とるか知りませんが、高柳のほうも行かれたらしいんですけど、そこも本当に残念なことにシャッター街が多くてということで、日曜日でしたけれど。

そういった状況のことからすると、さっき言った未来創造事業というのが私は生きとらんかどうかというのがちょっと分からなかったんで、そこら辺の感想を聞かせてください。

◎福井輝夫会長

都市整備部参事。

●中村都市整備部参事

先ほど、市外から見た方が二見、それから商店街のほうを歩かれて、シャッター街を残念に思っていたというようなお話をいただきました。

確かにシャッターが閉まっている店舗も私どもの学生時分と比べたら格段に増えてきているのかなというふうには思いますけれども、いろんな理由があつてというお話は中心市街地活性化の協議会の中でも出ておまして、2階が例えば住居になつとったりとか、設備的に貸せる状況にないとか、そういうようなお話もありますので、個別個別に貸出しができない理由というのをもうちょっと詰めていくというような話で、シャッターが開いていくような形で進めていきたいというふうにまち会社の方々とも連携しながら進めているところでございますので、今後ともよろしくお願いいたします。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

そうですね。当然、御商売のことですから、都市計画の担当の方を責めとる話ではないんですけど、中心市街地の活性化の基本を立てたり、いろいろとお金を入れて、調査も入れてしとる割には、もう全然変わらない状況が続いておるとというのが現実で、正直やっぱり新道の商店街の当の本人の皆さんで、もう商売は辞めたけれども住んでみえるという人らのお気持ちがどうかというのは私も知り得ませんけれども、そのあたりの細かな調査もしていただきながら何かきっかけをつくらないと。

増えるかというのはあんまり期待も逆にしていなくて、この中にも新規事業が増えたよ、継続もあるということを書いてありますけれども、撤退したのは書いてないんですよ。だから、そういったことを考えるとなかなか厳しい状況にあるので、お木曳行事もこれからあります、遷宮に向けてというときに、やはり商店街を行かれる人というのは相当あるんじゃないかなと僕は期待しとるんですけどね。そのあたりのことを思うと、やはりもう一歩何かきっかけをつくってというようなことができないものなのかというのをすごく感じます。

これはもう答弁よろしいです。

もう一つお聞きしたいんですけども、3Dの都市モデルで何か災害にもというようなことで都市計画課が段取りをしていますけれども、ちょっとこの説明をしていただけませ

んでしょうか。

◎福井輝夫会長

都市計画課副参事。

●青山都市計画課副参事

3D都市モデルのお話をさせていただきます。

そもそも3D都市モデルが何かといいますと、都市空間をデータ上で再現した3Dのデジタル地図のことでございます。簡単に言いますと、今2次元の地図であるものを3次元化したものでございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

災害リスクの可視化というように書いてあるんですけれども、これは伊勢市内全域をやるわけですか。

◎福井輝夫会長

都市計画課副参事。

●青山都市計画課副参事

災害リスクの可視化といいますと、まずハザードマップの情報を3Dで表現しようと考えております。地図自体は伊勢市全域をしますので、ハザード情報があるものについては、それを表現できるように整備を進めたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

そうしますと、一市民の方がそのデータへのアクセスというのはやれるというような状況になるんでしょうか。

◎福井輝夫会長

都市計画課副参事。

●青山都市計画課副参事

情報自体はオープンデータ化いたしますので、市民の方も、当然デジタルですので、パソコンを使ってのことになりますけれども、見ていただくことになります。以上でございます。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目2まちづくり推進費の審査を終わります。

次に、目3都市施設管理費について御審査願います。

(目3都市施設管理費) 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、目3都市施設管理費の審査を終わります。

次に、目4下水道施設管理費について御審査願います。

(目4下水道施設管理費) 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、目4下水道施設管理費の審査を終わります。

次に、目5街路事業費について御審査願います。

(目5街路事業費)

◎福井輝夫会長

御発言はございませんか。よろしいですか。

宿委員。

○宿典泰委員

確認も含めてしたいんですけれども、岡本吹上線の改良ということで、完成が令和12年までかかるということなんですけれども、今の進行状況と、県営の事業の地元負担金でこれも同じ事業をやられておると思うんですけれども、併せて報告ください。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

岡本吹上線につきましては、令和5年度に詳細設計を行わせていただいております。令和6年度からガス等の占用管の移設補償等を行いつつ、一部の区間でございますけれども、共同溝の工事に入っていきたいと考えております。

また、令和12年度完成になりますけれども、伊勢市としての投資につきましては、令和10年度までに共同溝の埋設を終えまして、令和11年度、12年度につきましては、電線事業

者の入線作業と現在の電柱の伐柱作業を全て終えまして、令和12年度に完成予定となっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

また、県営の事業の負担の部分もちょっと教えてほしいと思うんですけど、岡本吹上線が始まるのは結構な話です。それからどちらの方向へ、伊勢市駅のほうへ入っていくのか、それとも御幸道路というのかな、そちらのほうへ入っていくのかというような先のことというのが全然見えてこないの、そのあたりの事業計画っていうのを知りたいと思ったんですけども、お願いいたします。

◎福井輝夫会長  
都市整備部次長。

●上田都市整備部次長

失礼いたします。

県道の無電柱化の進捗状況でございますけれども、外宮度会橋線、こちらは旧鳥羽松阪線になります。こちらのほうはもう間もなく入線完了というふうに聞いております。

一方、伊勢市役所から南島線、こちらは街路名でいきますと外宮常磐線、本町宮川堤線とちょっと2種類あるんですけど、こちらのほうも工事を進めており、本町宮川堤線については詳細設計を進めている、そのような状況になっております。

あと、岡本吹上線、これは市道なんですけれども、こちらは現在の事業箇所が御幸道路の交差点までというふうになっておりますので、伊勢市駅側ではございません。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

僕は、耐震化とか地震の関係から見ても、電柱の地中化をやっていくというのはもう能登の状況を見たらすごく分かるので、ぜひ進めていただきたいと思うんですけども、市道でお願いするようなところはもっとあるんじゃないかなと思うんですけども、そのあたりの優先順位を聞かせてください。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

先ほど委員仰せのとおり、地震に対応するような形でまず緊急輸送道路に指定されとる路線、現在の岡本吹上線も第3次緊急輸送道路ということで指定されておる道路でございますので、進めておるところでございます。

今後につきましても、また景観に配慮する場所がありますとか、もちろんほかの緊急輸送道路も含めまして検討してまいりたいと考えておるところでございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、目5街路事業費の審査を終わります。

次に、目6公園費について御審査願います。

公園費は、110ページから113ページです。

(目6公園費)

◎福井輝夫会長

御発言はございませんか。

野口委員。

○野口佳子委員

この111ページの公園整備事業のところ、宮川河川敷公園整備事業についてお尋ねしたいと思います。令和6年度の事業内容を教えてください。

◎福井輝夫会長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

宮川河川敷公園についてお答えさせていただきます。

令和6年度の事業内容につきましては、公園内の樹木の伐採を行わせていただく予定でございます。

◎福井輝夫会長

野口委員。

○野口佳子委員

分かりました。そしたらこれは公園内の樹木伐採ですか。

次に、決算特別委員会で今後の整備をどのように進めていくかをお聞きし、国・県と協

議し検討していくとのお話もいただきました。その後、公園整備について何か進捗はありますか。

◎福井輝夫会長  
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

宮川河川敷公園につきましては、かなり広大な面積の公園でありますことから、その整備につきましては多大な費用が必要でございます。まず、国の補助事業の活用が不可欠となっておりまして、現在、令和7年度以降の補助事業の採択に向けまして国や県と協議を進めておりますもので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

◎福井輝夫会長  
野口委員。

○野口佳子委員  
分かりました。

それこそこの公園なんかは結構皆さんが散策に行かれたりしますので、この公園を憩いの場として多くの皆さんが楽しんでおりますので、国や県に働きかけていただいて整備をしていただき、楽しい場で、夏なんかでしたら特に、ベンチなんかを置いていただいておりますので、たくさんの方がそここのところを散策するので、その点につきましてもよろしくをお願いしたいと思っておりますので。ありがとうございます。

◎福井輝夫会長  
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長  
他に発言もないようですので、目6公園費の審査を終わります。  
審査の途中でありますので、午後1時まで休憩いたします。

休憩 午前11時54分

再開 午後0時57分

◎福井輝夫会長  
休憩を解き、再開します。  
次に、112ページの項6住宅費について、項一括で御審査願います。

## 《項6住宅費》

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。

北村委員。

○北村勝委員

住宅対策費の住宅・建築物耐震改良等促進事業で少し確認させてください。

まず、この説明資料の69ページで重点ということで確認させてもらいました。それで、補助対象事業として幾つか上げていただいているので、まずこの各補助事業に対しての上限、幾らの予算になったのか、少し内訳等をお聞かせください。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

これらの事業の補助の上限額について御説明させていただきます。

まず、1つ目の耐震診断、こちらは無料でございます。それから、耐震補強の設計、こちらの費用は18万円が上限、同じく耐震補強の工事、こちらは令和6年度から25万円増額させていただきまして125万円で、その補強工事と同時に行いますリフォーム工事、こちらについては20万円。それから、耐震シェルター等の設置工事、これは令和6年度から新設する予定のものですけれども、50万円。次に、除却、空き家の解体ですけれども、こちらは30万円。最後に、ブロック塀の撤去は10万円。

以上が上限額となっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

どうもありがとうございます。

今、内訳で、新規というところで耐震補強工事を25万円増額していただいたと、それで耐震シェルターの導入に対して新設していただいたということで確認させてもらいました。

それで、この中で、業務改善のところの文章の中に「危機管理課と協力して今後5年間で市内の対象住宅12,500棟の戸別訪問を実施するとともに、耐震診断済みの住宅に対しても耐震化の働きかけを行い、木造住宅に居住する市民の安全確保を進める」と。

昨今、能登の地震でも、昭和56年5月以前の建物は非常に耐震に対して弱かったということで、いろんな被害が大きく出たということで、耐震化に対して改めて再認識したわけですが、この1万2,500軒に対して耐震化を進めていただくということは非常に大事なことかなというふうに感じました。

それで、さきの一般質問等で市長のほうから伊勢市の耐震化率が84.1%という御説明を伺いまして、もう耐震化が進んでいるなという意識を持ったわけなんですけれども、残りが15.9%になると思いますが、回っていただくのが1万2,500軒ということですので、この数字がこんなに大きいのはなぜなのかなというふうに感じました。

思いますが。

◎福井輝夫会長  
住宅政策課長。

●城住宅政策課長

耐震化率84.1%という数字が出ております。こちらは統計により出ておる数字でございます。ここにあります1万2,500棟についても、じゃあ、この1万2,500棟のうちどの家の耐震化ができていのかということは把握はできません。ですので、昭和56年以前から居住しておるであろうという家1万2,500棟をローラーで潰していくという形になっております。そのような予定で動きます。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

はい、分かりました。

その数字というのはすごく大きいなと思いましたので、改めてこの対象の、このうちはまだ既に耐震化はしているということはあるけれども、全部ローラーで回っていただいて、そこを確認しながら耐震化を進めていただくということで、5年間でしっかりやっていただくということで理解させていただきました。

そして、耐震済み住宅に関して制度が幾つか、診断から補強設計まで、それから工事、それでリフォーム、いろんなことが7つあるわけなんですけれども、例えば工事をする中で、途中でやめて、1年後、2年後にまた改めてリフォームしたいという場合に、この補助金に対して、時期がずれば、またはちょっとタイミングがずれてでも同じように、申請済みはもう駄目ということじゃなくて併用も可能なのか、お聞かせください。

◎福井輝夫会長  
住宅政策課長。

●城住宅政策課長

例えば過去に耐震診断を受けていて数年後に耐震補強等をしていただくのは結構なんですけれども、耐震補強と耐震補強に伴うリフォームを分けてやっていただくことはできませんので、あくまでも一度診断を受けていただいたらその診断結果はずっと有効ですので、後に補強工事をやっていただく、これについては、そのような扱いができるということで御理解いただきたいと思っております。

◎福井輝夫会長  
北村委員。

○北村勝委員

それでは、そういう形で改めて申請が可能ということで理解させてもらいました。

それと、除却の工事補助についてですが、令和4年度より除却工事の対象は空き家に限定しておったということでした。それから、1年間の経過措置を設けて令和5年以降は、除却の工事の対象は空き家のみとなった。これは当然、令和6年度も同じなのか、またはそれに対して何か制限があるのか、そこを教えてくださいなんですけども。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

令和6年度以降につきましても、空き家の除却・解体について補助の対象とさせていただきます。ただし、この補助金は住宅を対象として設置しておりますので、例えば納屋とか倉庫、それから車庫については、補助の対象外ということで御理解いただきたいと思います。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。今までを踏襲するという形で分かりました。

それで、今回新たに耐震シェルターを設置していただけると。この説明の中には、以前よりも金額的にも安くなったということも補足して説明がございます。大体、イメージなんですけれども、シェルターということになると、地下といいますか、どういう形でシェルター等を設置するようなイメージなのか、そこをちょっと詳しく教えてください。お願いします。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

耐震シェルターは、大きく分けて2種類ございます。部屋の中にもう一つ頑丈な箱を設置するというパターン、それからベッドの上を補強してあるような2種類。

簡単なやつというか、クオリティーは悪いんですけれども、（耐震シェルターの図を示す）これが部屋の中にもう一つ頑丈な部屋を設置するという形のものです。それから、ちょっとピントは甘いんですけれども、こちらがベッドのタイプですね。ベッドがあって上にフレームがついている、こういう2種類。いろいろ商品はありますけれども、大まかにこういった形状のものを対象にして行っていく予定としております。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

分かりました。そういった安価な形で導入できると、部屋の中に設置できるということで確認させてもらいました。

それで、最後になりますけれども、令和6年度で新たなシェルター、それから当然耐震補強するというので、補強してリフォームという形の中でいくのかなと。予算が全体で9,255万円のうち内訳は聞かせてもらいました。ただ、今年度、5年回ってもらって進めていただく中で、目標とすればどれぐらいを予算の中で耐震化に向けて推進していただくということを考えているのか、当局の目標といたしますか、ある程度これぐらいはお願いして進めたいというのを聞かせていただければと思いますので、お願いします。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

あくまで目標ということになるんですけれども、耐震診断は、例えば今年は170件ほどだったんですけれども、来年は300件受けていただきたいというふうに考えております。

耐震補強のほうですけれども、これはもう例年数件しか実績がございません。こちらを20件ほどは補助につなげていきたいというふうに考えております。

新しいシェルターですけれども、こちらについては10件を見込んでおります。以上でございます。

○北村勝委員

分かりました。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

上村委員。

○上村和生委員

私も、目2住宅対策費の中の大事業1の住宅対策事業、小事業3の住宅・空家リフォーム等促進事業についてお聞かせいただきたいと思っております。

今回2,000万円が盛られておりますけれども、説明書には、「令和5年度に空家のリフォーム費用の補助制度を創設し、住宅関連産業の振興及び空家の流通を促進した。令和6年度においては、空家購入補助金を新設し、移住と定住を促進し、空家の機能回復と改善を図る」としてこの予算が計上されておりますけれども、この事業の中には、今回新規ということで、合わせると3つの事業になるのかなというふうに思っておりますけれども、今回購入補助の部分が新設されたということでありますので、その辺の部分、まず最初に

どういふことをしていくのか、ちょっと教えてください。

◎福井輝夫会長  
住宅政策課長。

●城住宅政策課長

まず、この空家購入補助金の制度の内容ですけれども、耐震性のある空き家を購入する際に3年以上居住していただくということなどを条件としまして、対象経費の2分の1、一般世帯は上限30万円、それから、子育て世帯と市外からの移住世帯につきましては上限50万円を補助いたします。ただし、先ほど御紹介いただきました今年度から開始しました空家リフォーム補助金との併用はできない、このような立てつけになっております。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

ありがとうございます。

30万円と50万円の補助をしていこうということで、分かりましたけれども、この事業、2事業で令和5年度も2,000万円、令和6年度については3事業になって、1事業増えて同じ2,000万円ということになっておりますけれども、どこが変わったのかな。

商工労政課さんのほうの部分で何か変更があったのか、まず最初に聞きたいと思えますし、ちょっと事業の説明もお願いします。

◎福井輝夫会長  
商工労政課長。

●東世古商工労政課長

商工労政課のほうで行っております住宅リフォーム促進事業補助金でございますが、これは、今お住まいになられているおうちに対してリフォームを行う際に補助をさせていただいているものでございます。リフォームの費用20万円以上の補助対象工事に対しましてその経費の10%を補助、上限5万円というところで、令和5年度からこの金額でさせていただいております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

ということは、商工労政課さんのほうでやられる事業については、昨年、令和5年度と変わらないということによろしいんですね。

◎福井輝夫会長  
商工労政課長。

●東世古商工労政課長

予算額につきましては、令和5年度、6年度同額で、うち1,000万円ということで今のところ考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

ということは、今まであった空き家のリフォームのほうが金額的に減つとるのかなというふうに思うわけですがけれども、その辺の部分の御説明を願いたいと思います。

◎福井輝夫会長  
住宅政策課長。

●城住宅政策課長

今年度から始めております空き家のリフォーム補助金ですがけれども、今のところの実績としましては、今年度9件、金額で300数十万円の補助の予定、実績となっております。初年度ということもありまして、なかなか伸びなかったのかなという反省もあるんですが、ただ、来年度以降伸びるとしても、まだ1,000万円に到達するという事はなかなか考えにくいという面と、あと空家購入補助金を設置した理由というものがあります。ターゲット、目的が違いますので。

まず1つ目、制度の目的としましては、空家リフォーム補助金と同様に、空家購入補助金のほうですがけれども、空き家の利活用による流通を図る、先ほど御紹介いただきましたけれども、移住・定住、子育て支援を促進する、その上で空き家の機能回復と改善を図る、これについてはリフォーム補助も購入補助も同じなんですけれども、もう一つ、2つ目の目的としまして、リフォームが必要な空き家になる前、つまり空き家になって比較的早い段階でも流通を促して空き家の老朽化を防ぐ、空き家リフォームが必要になる前に空き家を流通させるという目的で、新しく空家購入補助というものを設けたところです。

◎福井輝夫会長  
上村委員。

○上村和生委員

目的は分かりましたけれども、空家リフォームのほう、それについては、またその辺のPRを含めて努力もしていただきたいと思います。

今、伊勢市内でも空き家空き家ということで、いろんなところで危険空き家なりなんなりが増えてきとるといふようなことが言われて、いろいろ対策もされとるといふふうに思

うわけなんですけれども、根本的には、やっぱり人口減少が大きな要因を占めとるんではないのかなというふうに分析するところなんですけれども、これもそうなんだと思うんですけれども、発生してから何かどんどん騒いどると言うたら言い方はおかしいかも分かりませんが、事前にこれだけ減少したらどれぐらい発生してくる可能性があるんだろうと、そんなもつかみながら、それには何をしたらいいのかと、そんなような事前のと言うたら言い方が分かるかどうか分かりませんが、事前に予防的なことも、このところでやるのかどうか分かりませんが、何かそんなことも考えていかないと、そこら辺にも力を入れていかないとこのことはなかなか解決しないと思いますので、その辺もお願いをして、このことについては終わっておきます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

◎福井輝夫会長

回答はよろしいですか。

○上村和生委員

はい。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

私は、住宅・建築物耐震のところでお伺ひしたいと思ひます。

今年、能登半島の地震を受けて、市長のほうとしては予算をちょっと後から盛っていただいたということで、非常に感謝を申し上げたいと思ひます。

昨年、東京のほうに国への陳情に行ったときにたまたま市長とお会いしたんですけれども、その次の日に病院の事業のほうで、全国市議会のほうで、たまたまそこで御挨拶されたのが珠洲市の市長で、令和5年5月5日に石川県の地震で局地激甚災害に指定されたということで非常に喜んでみえました。

それから1か月半たって1月1日にまた大きな地震が来て、壊滅状態になったということですね。当時6,000軒ぐらいあった家が3,400軒ぐらい全壊したのかな。もうほとんどが圧死状態、建物が壊れることによって圧死されたということで、副市長のほうもこれはいかんということで、これからの空き家対策であつたり耐震のほうに力を入れて、これはまだ最初の頃ですので、これからどんどんその分については強化をされると思うんで、非常に頑張っていたきたいと思うんですけれども、ちょっと中で気になったのが耐震シェルターの設置なんですけれども、これは実はもう10数年ぐらい前ですかね、平成21年に辻孝記君が一般質問をされて、平成23年ぐらいには県と共に、あのときの東北大震災を受けて、伊勢市もそのときに新規事業としてつけたんじゃないのかなと、このように記憶しとるわけなんですけれども、それで合っていますかね。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

今おっしゃっていただきましたように、確かに伊勢市でも平成23年度から30年度まで、同じようにシェルターの補助金はございました、若干内容は違いますけど。以上です。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

やっぱりあのときに大きな地震があってこれがついたと、今回も能登半島の地震があったんでこれをつけたと。それでしばらくたったら、先ほどの最初のほうの急ブレーキ発進事業でも一緒なんですけれども、求める人がいなかったのをやめてしまうというようなことではちょっといかんと思うので、やっぱりこういうことは長い目を持って、伊勢市の施策として、たとえ使う人がいないとしても残していただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

確かに以前に県の補助を得て行っておりましたときには、実績が1件しかなかったというふうに聞いております。今回、そのように待っているだけでは当然実績が出ないと思いますので、最初にお話しさせていただいておりますように、耐震性がないであろうという家を戸別に訪問して掘り起こしを行っていく、それで補助の実績を上げていく、耐震性を上げていくという考えでおります。以上です。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

それと、先ほど北村委員も話をされましたけれど、対象住宅1万2,500戸を戸別訪問するという、意欲ばりばりで非常にええと思うとるんですけど、5年間で1万2,500戸を回っていこうと思うと年間2,500軒、1日10軒以上回らないかんという計算になっちゃうんですけど、もうちょっと長い目で見るとか、人員を非常にたくさん入れるのかということも含めて、ちょっと教えていただきたいと思います。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

当然、人員が多ければ多いほどやれるわけですが、なかなかその辺は厳しいということで、例えばどこの地区を訪問するか、攻めるかということとか、そのあたりを考えながら、当然、古い家が密集しているところを優先させて行っていきたいというふうには考えております。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

先ほどの話でもそうですけれども、鉄は熱いうちに打てであって、今、市民の話を聞くとほとんど防災の話になっておって、私も話をすると、町なかであっても避難タワーがないやないかというような話をされる方もみえます。一次避難でやっぱり逃げるところが沿岸部と違うというふうな説明もさせていただくんですけど。

これは総務政策分科会の管轄になるんであんまり入りませんが、やっぱりそういう危機管理のほうからも震災があったときの第一行動ということもさらに御紹介いただいて、特に高い建屋のほうに逃げるということを、例えば大世古辺りなんかは東横インさんが建ったということで、そのところには大世古さん自体が申込みに行ったという話なんですけれども、やっぱり行政のほうからも、そういうところで協力したって下さいねということをちょっと頑張ってやっていただきたいと思います。

これには非常に期待をしておりますので、今回再任されました福井副市長には、ちょっと決意のほどをお聞きしたいなと思います。

◎福井輝夫会長

福井副市長。

●福井副市長

決意のほどということでもありますけれども、少し簡潔にという話にちょっとだけ時間をいただくとして、実はシェルターについても従前はあったんですけれども、家の中に家を造るということで、結構引っ越しが要るとか、いろんな問題があって進まなかった状況があります。

今般、先ほど説明したように、ベッドの上に置くような形とか、いろんな製品が開発をされております。そういう面では、市長のほうから、これはもうローラー作戦でやれということで強い指示があって始めたところでもあります。

まさにある意味じゃピンチをチャンスにということ、耐震化についても、東日本大震災のときは伊勢市でも20件を超える工事がありました。今どういう状況になっているかというと、県内の各市町村全てにわたって10件を超えるところの一つもありません。伊勢市も同様であります。ですので、非常に危機感も高まっておりますので、我々も熱意を持ってしっかり働きかけることによって、耐震補強工事を進めてまいりたいというふうに思っております。

◎福井輝夫会長  
品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。進めていただければよろしいと思います。

それと、先ほど、住宅・空家リフォーム等促進事業があって、空き家を買ったときに補助金をつけるということで、これは伊勢市全域にわたるということでよろしいでしょうか。

◎福井輝夫会長  
住宅政策課長。

●城住宅政策課長

空き家を購入したときにお出しする、特に区域は設けておりません。

◎福井輝夫会長  
品川委員。

○品川幸久委員

当該課の人に答えさすのはつらいと思うんですけど、先ほどのまちなかウォークブルでもそうなんですけれども、伊勢市はコンパクトシティの実現で中心市街地の活性化と言いながら、それでしたらコンパクトシティに合うように、例えばコンパクトの中の空き家でしたらある程度補助金を高くするとか、やっぱりそういうふうな施策が必要ではないのかと思うんですけど、いかがでしょうか、部長さん。

◎福井輝夫会長  
都市整備部長。

●荒木都市整備部長

おっしゃるとおり、立地適正化計画の中でコンパクトシティをやっていこうという考えがございます。今おっしゃったような手法もその一つになり得るかとは思いますが。

ただ一方で、なかなかこのコンパクトシティの難しいところは、コンパクトと申しますか、そのエリア、誘導区域以外のエリアの方とのバランスと申しますか、そこも難しいところもございますので、そこはちょっと研究課題とさせていただきたいと思っております。以上です。

○品川幸久委員  
分かりました。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

伊勢市の方針として、少しでも耐震補強をやっていくということはよく分かりました。

補助事業の中のブロック塀等の撤去の補助のことについて少しお伺いしたいと思うんですけれども、実は令和6年2月の初めに市民の方が撤去工事のことで申請しにお邪魔したら、もうできませんという話でした。それはもう1月末に申請は終わっておるというようなことでしたけれども、この理由を教えてください。

◎福井輝夫会長

住宅政策課長。

●城住宅政策課長

御指摘のように、1月末にはブロック塀の補助の申請を終了しております。このような締切りを設けておりますのは、事務処理上のスケジュールの制約があるからでございます。

ブロック塀撤去をはじめ、ほかの耐震関係の補助金もそうなんですけれども、国・県の補助を受けて実施をしております。その制度の範囲内で事業を行っております。国・県の補助を受けるには、2月上旬には補助の確定件数を報告する必要があります。3月末までに補助金の支出を完了しておかなければならないという決まりがございます。繰越しが認められていないと。その関係で申請者には、事業の完了報告、実績報告を2月末までに提出していただくようお願いをしております。

このブロック塀撤去の申請ですけれども、補助申請を受けてから申請内容確認のために現地を調査して距離を測り、その上で補助金の交付決定をしております。交付決定の後に撤去工事に着手をしていただき、完了後に報告書を提出してもらおうと、このような流れになっております。これら一連の流れには約1か月は必要であるというふうに見込んでおりますので、1月末には申請受付を終了せざるを得ないということで、例年このような対応をさせていただいております。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

申請の受付からまとめてそれを受理するまでに一月ぐらいかかると。私、申請書を見せていただきましたけれども、申請書は本当に2枚程度で、あと写真や位置図やらメートル数も全部書いてあります。現地に行ったとしてもそれを合わせていただく話ですから、民間の仕事でいうたら、もう2、3日もあれば確認できるような話だと思います。

だから、それに時間がかかるという言い訳はどうかと思うんですけれども、私が問いたいのは、伊勢市として、耐震のことについてこれだけの補助を様々にやろうというよう

なことでやっています。それが1月の末とかそういった、1月の末ですから、2月、3月と、通常でいくと会計の終了までにはまだ2か月あるという状況の中で、もうできないというような話をするということは行政側の理由であって、民間のほうはそういう日にちで物事を考えていないと思うんですよね。

それに、安全性の問題から、民間の者がそれだけの費用をかけて安全を保とうということで申請をするわけで、補助金というてもブロック塀に10万円を頂く話なんです。まあ大きな話ですけどね。30万円かかって、そのうちの10万円を補助として頂くということになるわけですけども、そういう仕組みというのは僕はいかがかなとは思っていますよね。それやったら行政側の単費で出したらどうですか、そんなに大きい数字ではないと思うので。

そうすると、その間に子供が寄りかかって学校帰りにブロックが崩れたというようなことがあったときには、それはまた本人の責任になるんでしょうか。そういったことも考えると、締切りを国の補助事業にのせながらやるという態度はちょっと私はどうかなと思っていますけれども、その点、お答え願えませんでしょうか。

◎福井輝夫会長  
住宅政策課長。

●城住宅政策課長

まず、先ほどの受付の時間の流れなんですけれども、最初の申請を受けてから、最後は工事が終わって完了報告をいただくまでが1か月かかるだろうという見込みで、1月末に締切りをさせていただいております。

あと、確かにもっと締切りが遅くて年中受付をさせていただくことのほうが市民サービスの向上、当然安全の確保につながるとは思っております。しかし、今のやり方、考え方といたしましては、国・県の補助が受けられる範囲で、すなわち市の財政負担が少なくなる範囲で、最大限の効果を求めて事業に取り組んでおるということで御理解いただきたいと思っております。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

そのあたりはあんまり理解できないので、再度御質問申し上げますけれども、国のほうの補助がないとやらないという態度でやっていくということですか。市民の安心・安全ということを言いながら、これは国のほうの補助はもらえない、県のほうの補助ももらえないからその時期はできないということを申し上げるとするような状況で、何もあまりきばって言うような話ではないと思うんですけれども、どうでしょうか。

◎福井輝夫会長  
都市整備部長。

●荒木都市整備部長

国・県の補助を最大限活用するというところに変わりはありませんけれども、おっしゃるように、市民サービス、それから耐震ということが大変重要視されている中でございますので、切れ目のないブロック塀の補助が受けられるようなことを検討していきたいと思っております。以上です。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。よろしいですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、項6住宅費の審査を終わります。

以上で、款9土木費の審査を終わります。

次に、116ページをお開きください。

款10消防費の審査に入ります。

当分科会の所管は、項1消防費のうち目4水防費です。

**【款10消防費】《項1消防費》（目4水防費） 発言なし**

◎福井輝夫会長

御発言もないようでありますので、款10消防費の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、138ページをお開きください。

款12災害復旧費の審査に入ります。

当分科会の所管は、項1農林水産業施設災害復旧費及び項2公共土木施設災害復旧費です。

**【款12災害復旧費】《項1農林水産業施設災害復旧費》《項2公共土木施設災害復旧費》  
発言なし**

◎福井輝夫会長

御発言もないようでありますので、款12災害復旧費の当分科会関係分の審査を終わります。

以上で、歳出の審査を終わります。

続いて、歳入の審査に入ります。

14ページへお戻りください。

款2地方譲与税を御審査願います。

当分科会の所管は、項3森林環境譲与税です。

**【款2地方譲与税】《項3森林環境譲与税》 発言なし**

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款2地方譲与税の当分科会関係分の審査を終わります。  
次に、16ページの款14交通安全対策特別交付金を款一括で御審査願います。  
交通安全対策特別交付金は、16ページから19ページです。

**【款14交通安全対策特別交付金】** 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款14交通安全対策特別交付金の審査を終わります。  
次に、款16使用料及び手数料を御審査願います。  
当分科会の所管は、18ページの項1使用料のうち、目4労働使用料、目5農林水産業使用料、目6土木使用料及び20ページの項2手数料のうち、目3農林水産業手数料です。

**【款16使用料及び手数料】** 《項1使用料》（目4労働使用料）（目5農林水産業使用料）  
（目6土木使用料）《項2手数料》（目3農林水産業手数料） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款16使用料及び手数料の当分科会関係分の審査を終わります。  
次に、款17国庫支出金を御審査願います。  
当分科会の所管は、22ページの項2国庫補助金のうち、目4農林水産業費国庫補助金、目5観光費国庫補助金、目6土木費国庫補助金及び24ページの項3委託金のうち、目3土木費委託金となります。

**【款17国庫支出金】** 《項2国庫補助金》（目4農林水産業費国庫補助金）（目5観光費国庫補助金）  
（目6土木費国庫補助金）《項3委託金》（目3土木費委託金） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款17国庫支出金の当分科会関係分の審査を終わります。  
次に、款18県支出金の御審査を願います。  
当分科会の所管は、26ページの項2県補助金のうち、目4労働費県補助金、目5農林水産業費県補助金、28ページのみ6商工費県補助金、目7土木費県補助金及び項3委託金のうち、目3農林水産業費委託金、30ページのみ4土木費委託金です。

**【款18県支出金】** 《項2県補助金》（目4労働費県補助金）（目5農林水産業費県補助金）  
（目6商工費県補助金）（目7土木費県補助金）《項3委託金》（目3農林水産業費委託金）  
（目4土木費委託金） 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款18県支出金の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、30ページをお開きください。

款21繰入金を御審査願います。

当分科会の所管は、項1基金繰入金のうち、目7景観形成基金繰入金及び目10森林環境譲与税基金繰入金です。

**【款21繰入金】《項1基金繰入金》（目7景観形成基金繰入金）（目10森林環境譲与税基金繰入金）** 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款21繰入金の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、32ページをお開きください。

款23諸収入を御審査願います。

当分科会の所管は、項3貸付金元利収入のうち、目2商工貸付金元利収入、目3土木貸付金元利収入及び項4受託事業収入、項5雑入のうち、36ページの目6労働費収入、目7農林水産業費収入、目8商工費収入、目9観光費収入、目10土木費収入です。

**【款23諸収入】《項3貸付金元利収入》（目2商工貸付金元利収入）（目3土木貸付金元利収入）《項4受託事業収入》《項5雑入》（目6労働費収入）（目7農林水産業費収入）（目8商工費収入）（目9観光費収入）（目10土木費収入）** 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、款23諸収入の当分科会関係分の審査を終わります。

以上で、歳入の審査を終わります。

議案第2号中、当分科会関係分の審査を終わります。

次に、一般会計中、当分科会関係分の自由討議を行います。御発言はありませんか。

**【一般会計の自由討議】** 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、特別会計の審査に入ります。

223ページをお開きください。

「議案第6号 令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」を御審査願います。

この議案の審査については、一括で御審査願います。

☆議案第6号 令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計予算

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

まず、歳出のほうの話をさせていただくと、観光交通の対策事業として駐車場、特に自動の機械等の管理も含めて、支出が管理費として上げられております。積立金のことも後から聞きますけれども、一旦このあたりの状況を御説明願えませんでしょうか。

◎福井輝夫会長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

今回予算計上させていただいた主な内訳をお話しさせていただきますと、警備関係であったりトイレの維持管理含め、主に人件費が約60%で、ゴールデンウィーク、年末年始の特別対策のシャトルバス運行が約20%、残りの20%につきましては、協議会への負担金であったりとか、その他交通安全施設の設置等でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

たしか積立金のほうも令和5年度末が4億4,000万円ぐらいになるというようなことで、まだ決算は終わっていませんけれども、今回も予定では5億円以上になるということを聞いておるんですけれども、基金のほうの積立額も教えてください。

◎福井輝夫会長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

基金につきましては、現時点では約4億5,000万円、また来週、最終補正の審議をいただくんですが、さらに1億5,000万円積み増すということで、現在、合計で約6億円になる予定をしております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

今6億円近いお金があるということで安心はしましたけれども、あと軽微な変更とか自動の精算機の更新とかいう話も以前からあるんですけれども、このあたりの費用については問題ないということでしょうか。

◎福井輝夫会長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

機器につきましては、平成24年から10年たってきておりまして、そろそろ更新を見据えて調査のほうはしておるんですが、来年度の新紙幣の対応につきましては、もう既に完了済みでありますので、今現在、駐車をいろいろな部分で見直しのほうを検討しておりますので、機器の更新についてもその中で検討しておりますので、またどこかのタイミングで更新のほうをしていきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

以前から、全体的な収入に対して支出のほうの削減をとということで申し上げておりましたけれども、全体としては見直すということになると、駐車場の問題であったり、パークアンドバスライドをどうしていくかというようなことになってくるとは思うんですけど、削減について、どのような全体的な見直しをしていただいておりますでしょうか。

◎福井輝夫会長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

こちら、以前も答弁はさせていただきましたが、現在の駐車場の容量で現在の道路の使用の仕方では、削減というのは僅か、警備員さんを1人2人減らすような軽微なものしかできません。道路の使い方であったりとか、駐車場の容量の問題であったりとか、そのあたりも含めて今トータルで検討しておりますので、また時期が来ましたら議会のほうにも御説明させていただきたいと思っております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

時期が来たらということで、いつの時期かなということも質問すればええんかも分かりませんが、なかなか難しい時期であれば事前に我々のほうにも、どういう体系で見直しを全体的にしていくんだということで、トータル的なことも見える化できるようにきちっとやってもらいたいと思っておりますし、いや、こういうことでもう決まりましたということではなくて、我々議会のほうの意見も聴取をしていただくような機会も持っていただきたいと思っておりますけれども、そのあたり、いかがでしょうか。

◎福井輝夫会長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

御存じのとおり内宮周辺はたくさんの方がいる中で、その方々の了解も得ずにお話しすることというのは非常に進め方としては頓挫する可能性もありますので、当然、もうこれで決まりました、やりますという形での御報告がないような形で、またしかるべきタイミングで御報告させていただきたいと思っております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、議案第6号の審査を終わります。

次に、241ページをお開きください。

「議案第7号 令和6年度伊勢市土地取得特別会計予算」を御審査願います。

この議案の審査についても、一括で御審査願います。

☆議案第7号 令和6年度伊勢市土地取得特別会計予算 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、議案第7号の審査を終わります。

次に、特別会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思っております。

【特別会計の自由討議】 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

それでは、審議中ですが、ただいまより55分まで休憩します。

休憩 午後1時45分

再開 午後1時54分

◎福井輝夫会長

休憩を解き、再開いたします。

次に、企業会計の審査に入ります。

281ページをお開きください。

「議案第9号 令和6年度伊勢市水道事業会計予算」を御審査願います。

この議案の審議についても、一括で御審査願います。

☆議案第9号 令和6年度伊勢市水道事業会計予算

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。  
品川委員。

○品川幸久委員

水道事業ということでちょっとお伺いしたいと思います。  
震災を受けて、市長さんの所信の一端で、重要施設への耐震化というふうな話が出ておったんですけれども、私の理解するところでは、耐震のほうは進めていっていただいていると思うんですけれど、どのような状況なんですかね。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

耐震化でございますが、耐震管につきましては、ダクタイル鋳鉄管というのを今採用してまして、昭和59年頃から導入しております。平成3年度から本格的に耐震管による更新を行っております。

先ほど委員おっしゃいました災害時重要給水施設でございますが、これにつきましては、平成29年に、水道事業ビジョン策定を視野に入れまして、地域防災計画を基に、施設の重要度から病院や防災センター、市役所などの災害活動拠点、福祉避難所などを重要給水施設として位置づけておるものでございます。

この後なんですけれども、配水池から重要給水施設への管路の耐震化を目的といたしました生活基盤施設耐震化等交付金事業というのが令和元年度に事業採択されまして、現在これを進めておるところでございます。

それで、全体の、今現在、報道等でよく耳にいたします耐震適合率ですが、伊勢市の令和4年度決算時点で46.8%でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。46.8%ということで聞かせていただきました。  
ちょっと所信で言われたので、さらなるスピードアップかなというふうにも理解をしたんですけれども、そういうことではないんですよ。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

また後ほど御審議いただくんですけれども、施設の耐震化のこの補助事業につきましては、令和5年度の経済対策としての補正ということで手を挙げまして進めてまいりたいと考えております。

耐震関連の予算につきましては、令和5年度の当初、令和6年予定分の先ほど申しあげました前倒し分の国補正を含みました令和6年の当初予算というので比較いたしますと、約7%増加しております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

私、特に言いたいのは、重要施設への耐震化ということであって、重要施設ってどういうところなのか具体的に挙げていただいたほうがというか、先ほどちょっと言われたけれども、もう一回お願いします。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

重要給水施設でございますが、先ほど申しあげました分類で申し上げますと、例えば病院でありますと、田中病院さんであったり日赤、ハートクリニック福井さん、伊勢病院であったりいたします。あと福祉避難所でありますと、神路園であったり白百合園、上野の郷、虹の苑であったりとか高砂寮が該当いたします。災害活動拠点といたしましては、防災センターはじめ、市役所、御菌支所ですね、あと小俣支所、今後建設されます新庁舎、県庁舎、アリーナ、佐八の車庫等が該当いたします。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。聞いておると、ほとんどのところが入ってくるように聞こえるんですけれども、その施設のところが近くが耐震化であっても、そこまで来るところが潰れてしまっておったら水がいかないわけですよ。そうすると非常に長いところをやらなあかん。そうすると、重要施設というのはしっかりと選別していかないかんということになるかと思うんですけれども、特に気になったのは、私は、透析するところが能登半島のほうでも大分やられておって、透析、すごく水が要るということで、そこにおる患者さんは、よその地へ行って透析を受けに行ったというので、この間やっと水道管が通ったので、こちらのほうに戻ってきたというような報道もあったんですけれど、ただ、今回のもしこれが伊勢市の地震であったとすれば、伊勢市だけでは済まなくて、当然、松阪

もそうですし、大きな範囲で被害が出ると、やっぱり上の人はずいぶん上へ逃げるので、やっぱり伊勢市のほうが一番入口なんで頑張ってやっていかないとという思いがあるので、ちょっと聞かせていただいたんですけれど、それを踏まえて、部長さん、どうですか。

◎福井輝夫会長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

先ほど、透析病院、水は、当然切らしてはいけない重要な施設ということでお話しいただきましたけれども、今、令和13年度までの計画で進めている重要給水施設へのルートの耐震化の中には、透析をされているハートクリニック福井さんも含んでおります。それは重要な位置づけとして考えております。

今回の能登半島地震で、これまで給水活動、3回に分けて職員派遣をしておりますけれども、やはり病院の給水槽へ水を運ぶという作業というのもその中に含まれておりました。

そういったところで、すごくやっぱり重要給水施設の位置づけというのは、これまでも位置づけて進めておりますけれども、それはもう待ったなしの状態であると思っておりますので、今後とも整備のほうは計画的に進めていきたいと考えております。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

分かりました。

それと、経営改善の中で漏水ということがよく言われて、皆さんが、水、耳で聞きながらやっておるといようなことが話されとったんですけれども、漏水で分かって改善されるというのは、大体金額にするとどれぐらいのものが助かるというふうに理解してよろしいでしょうか。

◎福井輝夫会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

少し粗い計算になりますけれども、令和4年度決算におきまして、水を送るということに関する経費、直接的なものは、ポンプに係る動力費というものがメインになってきています。令和4年度決算におきまして、仮に1%有収率が上がったと計算しますと、令和4年度の単価、電力費の総費用に占める単価で計算しますと、少し粗いんですけれども、約160万円ほど動力費は減ったんであろうということですのでしております。以上です。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

それにプラス人件費ということになるのかなと思うんですけど、今度、私も産業建設委員会のほうで視察をお願いしとるんですけど、豊田市さんであったり長野市さんであったり瀬戸市さんであったり、今、衛星を使って漏水が分かるというような取組もやられとるので、ぜひとも一緒に勉強に行っていただきたいなと思うんですけど、そういうことは今までに研究されたことがあるのかないのかだけ教えてください。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

人工衛星を活用いたしました漏水調査につきましては、これまでも調査を行っております。最初に調査いたしましたのが、人工衛星からレーザーを照射いたしまして、得られる画像をA Iで解析する漏水調査というのがございました。これにつきましては、いろいろ聞いていきますと、的中率も30%程度ということ聞きまして、あと、得られる漏水の可能性のあるエリアという特定の範囲が、直径で言いますと200メートル程度ということで結構広範囲なようなものでございました。

最近でございますが、人工衛星から得られるデータと管路データ、あるいは地質のデータなどを組み合わせましてA Iで解析するといった漏水調査があると聞いております。先日も、我々も、その辺のことがどんなものなのかというのも、メーカーのほうへもウェブでございますが聞き取りも行いまして、今後、ここにつきましては、いろいろ聞いていきますと、的中率も、先ほど申し上げた30%から40%ぐらい、もうちょっと引き上げられるであったりとか、あるいは漏水の可能性のある範囲を100メートル四方ぐらいまで狭められるよというようなことも聞いておりますので、これにつきましては、今後も的中率や費用対効果とかも含めまして、我々も研究を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。一生懸命勉強していただいて、そのような結果が出るということで。

ただ、私、1つ、そうやって言いながら思っておるんが、この間の能登半島の震災のときに、やっぱり人力でずっとやっとなんてすよね、漏水を見るのに。何であれをレーザーでできなかったのかなと思ひながら、それも含めて一緒に聞きに行きたいと思うんですけど、勉強されたので、そこら辺のが分かるとしたら教えてください。なぜそれをしなかったかということ。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

我々も聞いていく中で、これらに取り組むについては、当然、先ほども申しあげましたような中率のリスクもございます。当然費用もかなりかかってくることから、その辺に踏み切れていなかったのかなということは予想はされます。先ほど委員おっしゃいました、人力でやると。調査を人力でやるとということは、もう我々も、当然、現在の漏水調査につきましては、路面音聴、戸別音聴という形で、各調査員が人力で調査を行っております。

ほかのちょっと耳に入れたのが、この人間で聞き取る音についてもAIに学習させて、漏水の音を学習させて判断させると、調査員によるばらつきがないような調査もあるとちょっと聞いております。このあたりにつきましても調査を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

他に御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

よろしくお願ひしたいと思ひます。

今回、予算の中で、給水戸数が5万8,028戸ということで目標がありますけれども、令和4年度決算のときに5万7,743戸ということで、500戸以上増えとるんですけれども、このあたりはどういう検証をしていただいたんでしょうか。

◎福井輝夫会長

料金課長。

●山口料金課長

給水戸数についてでございますが……

◎福井輝夫会長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

申し訳ありません。給水戸数につきましては、もうずっと数年人口減少が続いている状況の中で、その世帯数ですね、戸数ですね、核家族化等々で戸数というのはこれまでも増えてきておりました。300戸から500戸程度、年間で増えているというような状況も続いてきておったわけなんですけれども、ちょっと頭打ちの状況になってきておって、先ほど委員言われました5万7,743戸、これは令和4年度決算です。令和6年度末の予測として5

万8,028戸ということは、300戸弱、2年間で増えるということで、増え方としてはこれま  
でよりはもう減ってくるような、高止まりに近い状況であるというふうに推測をしており  
ます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

それ自体は収支のほうの計算に非常に重要な点だと思いますからいいんですけども、  
人口は減るとるけども戸数は増えとるということで言われましたけれども、この300戸ぐ  
らい増えとるという地区というのは何か限りがあるんですか。この例えば小俣地区のこう  
いうところが増えとるからこういう予算になったというのは。ちょっと教えてください。

◎福井輝夫会長  
料金課長。

●山口料金課長

給水戸数の増えておる地域としましては、今、委員がおっしゃられました小俣地区とか、  
あと旧伊勢でいきますと旧支所管内が増えとるというのは見られているんですけども、  
それ以上ちょっと細かくは分析というのは分からない状況ですけども、増えている地域  
は、今言うた方面が増えているというのは確認しております。以上です。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

分かりました。今回、令和6年度の収支が、9,393万円ぐらいの利益が出るということ  
で、これはやはりビジョンと比較してどのような状況になっておるのかということの報告  
をお願いしたいと思います。

◎福井輝夫会長  
上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

水道事業ビジョンにつきましては、2月の産業建設委員協議会のほうで御報告させてい  
ただきました。収入の見通しとしましては、策定したばかりですので、そう大きくは変更  
もなく、給水収益もビジョンどおりの見込みでございました。支出におきまして、ビジョ  
ンのほうにつきましては、決算ベースで策定しております。それから、当然、予算でござ  
いますので、委託費、修繕費等は予算ということで多めに計上しております。

ただ、減った要因としましては、電力代としましては、ビジョンでは、かなり上がって

くるだろうと、国からの電力会社への補助金もなくなったという最大の仮定でビジョンを計上しておりましたが、今回、予算におきましては、中電からの見積り等も参考にしながら計上しましたので、その辺は抑えられたんですが、結果的にはビジョンに対して約3,700万円の減少となっております。こちらにつきましては、例年の不用額等から推測しますと、おおむねビジョンどおりにはなるかなとは推測しておるんですけども、ビジョンどおりではなかなかいきませんので、やはり経営努力と経費削減の意識を持って事業を運営してまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

285ページにその原水費があるんですけども、この原水費の中の受水費という6億1,700万円ですけども、やはりこのあたりの軽減策というのは大きいなということを非常に感じておるんですけども、企業庁との話でどのような状況になっておるか教えてください。

◎福井輝夫会長  
上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

企業庁からの受水費につきましては、現在、令和2年度から6年度までの料金体系ということで、令和6年度までは同額で計上しておりますが、令和7年度からの5年間といいますのが、来年度、企業庁のほうから料金の提示がございます。そちらの中で、やはり我々も協議会というものをつくっておりますので、近隣市町等とも協力しながら、企業庁の経営計画や整備計画等も見せてもらいながら、市町としての意見も言わせていただき、極力料金を上げない方向、値下げする方向で交渉してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

何度も申し上げますけれども、やはりそのあたりの企業庁との折衝というものは非常に大きいので、それは市長を挟んで、削減できるようにやっていただきたいと思います。

能登半島の災害から、井戸水のことをいろいろ出ておりました。伊勢市内には井戸が270か所近くあったという、ちょっと昔の調査の話でしたけれども、そこら辺の話は、水道課としても大体読んでみえる話なんですか。

◎福井輝夫会長

危機管理部長。

●日置危機管理部長

先ほどの270か所というのは、市民の方が情報提供していただいている数字がちょうど270か所ということだったんですけれども、今後はそれを使えているかどうかという確認をしていこうと、そのように考えているところでございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

その調査はいつ頃行うんでしょうか。

◎福井輝夫会長

危機管理部長。

●日置危機管理部長

これについては、当初に登録していただくときに、使えなくなれば報告をしていただくという、その同意を基にやっているところではあるんですが、できるだけ速やかに調査を行っていきたくと、そのように考えております。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

なぜその井戸の話を上申し上げるかということ、やはり能登半島のあれを見てみると、飲料水は上水道課のほうで一生懸命やっていただく話かも分かりませんが、水道水は、私ら一般には、飲み水もそうですけれども、生活用水ですよ、利用することもすごく多いので、ただ、緊急事態のときは、井戸の水を生活用水だけでも使えないかということがあって、それで質問を上申し上げておるんですけれども、そうなったときに、早く調査をして、どこの地域にどれだけあるかというのは、危機管理課のところだけではなくて上水道課でも知ってみえるほうがいいんじゃないかなということも含めて申し上げたんですけれども、その立ち位置だけちょっと教えてください。

◎福井輝夫会長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

ありがとうございます。おっしゃられたように、飲料水だけではなくて生活用水への供給をするというのも重大な任務だというふうに考えておりますので、そういった御指摘い

ただきました井戸の位置、そういったものも危機管理課と共有しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

そのことも、あまり1年で調べていくということではなくて、できるだけ早く調査をしていただきたいと思います。

それと、やはり最近はPFASやらというような調査も必要になってくるということでもありますから、270か所を全部やるというのはどうかということもあるか分かりませんが、実際には、生活用水として使ったときに洗濯水で使いましたと、それはそこも何も調べていなかったの、PFASのその影響がありましたということではちょっと困ると思うので、そのあたりの調査というのはどのように広げていくのかというようなことも、5か所の水源地が、もう調査をしてというのは結果は私、聞いておるんですよ。聞いておるんですけれども、そういうことに広がりがあるんじゃないかなということでも質問申し上げました。

◎福井輝夫会長  
環境課長。

●山本環境課長

井戸水の、災害時も含めてのお答えになるかと思えますけれども、現在、井戸水と申し上げても、PFOS、PFOA自体が、どの程度体に入ると影響が出るのかというようなことも、まだ原因とされる健康被害も確認されていないということで、国のほうからも特に具体的な考えは示されておりませんので、ガイドライン等で、詳しく対処のほう分かり次第、適切に対応していきたいと考えております。以上です。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

ちょっと答弁が分からなかった。適切に対応してくというのはどういうことですか。私は、影響がないということが国のほうで保証されてまだおりませんよね。影響がないんじゃないかなということで、それも微量の話だとは思いますが、そういうことからすると、市民にやっぱり安心して井戸水を使っていたらこうということであれば、やはりそのあたりの検査をしていただくということが重要になるんじゃないかなということで申し上げたんですけれども、もう一度お答えください。

◎福井輝夫会長

環境課長。

●山本環境課長

今、水源地のほうでPFOS、PFOAの調査のほうが始まっております。仮にそちらのほうで値が高いようであれば、周辺の周知をさせてもらうことになろうかと思えますけれども、現時点では、飲めない基準ではございませんので、具体的な国のほうからの考えを待って対応したいと考えております。

○宿典泰委員

いやいや、僕、そんなこと聞いていない。

◎福井輝夫会長

市長。

●鈴木市長

井戸水のPFAS、PFOSの調査につきましては、一旦、それがどのレベルでできるのかできないかも含めて、一度研究させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

漏水の額の話は、品川委員からあったんですけれども、今、伊勢市のほうの漏水率というのは何%ぐらいなんですか。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

令和4年の決算時点で漏水率は11.7%でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

この数字というのは全国的にもあまり少ないというような状況なんですか。これ、多分ゼロになれば一番いいんだとは思いますが、どれぐらいの率になっておるのか。全国と合わそうというのは、水道の中であまりいいことではないとは思いますが、以前聞いたときには、令和5年度でもう10%を切ったみたいなことを聞いたんですけれど

も、8.6%やったかな。何かそこら辺の漏水率のことをもう一度お答え願えませんか。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

漏水率ですが、ビジョンの改定によりまして、令和5年度が、目標が12.2%、令和10年度の目標が10.2%とさせていただいております。全国的な数値で、漏水率のみでは出ておりませんが、類似団体の14団体ぐらいで独自で調査、令和2年のガイドラインになりますけれども、それで調べたところ、類似団体の14団体では、開きはありますが、0.1%から22.3%というようなものでございました。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

その類似団体の数字はあまり当てになるようなことではないと思うので、あくまで伊勢市の水道事業として漏水率がゼロに近いような状況をなぜつukれないのかというところの問題だと思うんですね。先ほど品川委員からも、いろんな手法があってということで、人工衛星からの確認ということも言われたと思うんですけども、何かやはり違うチャレンジをしていかないといかないのではないかなとすごく感じます。

私は以前にも申し上げたんですけども、四日市市が、無料のオンライン勉強会があって、水道DXというので何かあったので、それもちよつと受講させていただいたんですけども、今、伊勢市がやっておるダクタイルの鑄鉄管という交換の話が、四日市のほうは、漏水のリスクが少ない塩ビ管を集中してやっとするんやというようなことを聞くと、やり方に何か課題があるのではないかなということを感じたんですけども、そのあたりいかがでしょうか。

◎福井輝夫会長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

我々としましての管の更新方針でございますが、修繕が多く、耐用年数を超えました、特に独自基準の耐用年数を超えました古い鑄鉄管、C Iと呼ばれるものですが、それであったりとか、塩化ビニル管から更新をしております。理由といたしましては、これは耐震性がありません。かつ、割れやすいと、漏水につながるということで、これらをメインとして更新を進めております。

鑄鉄管に関しましては、2%で20キロメートルぐらいでございます。塩化ビニル管に関しましては51%を占めておりまして、485キロメートル程度でございます。当市としましては、75ミリメートル以上の口径の管の更新といいますのは、委員おっしゃられました、耐震性

のあるダクタイル鋳鉄管にて更新を行っております。

四日市さんのほうも、我々ともヒアリングも行っております。修繕の方針についてもお聞きしましたところ、僅かですが、やはり当市と同じようなパーセンテージを古い鋳鉄管が占めると。塩化ビニル管も、当然、割れやすく、漏水の可能性が高いので、これらも更新していくよということを聞きました。ですので、更新していっておる方針としては同じなのかなと感じております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

そうですか。四日市の方針と同じようにやっておるということで、私の聞き間違いなんだなというように感じるんですけども、それであれば、有収率は今何%ぐらいなんでしょうか。

◎福井輝夫会長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

有収率につきましては、令和4年度決算値で86.9%でございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

令和4年度、86.何%で合っていますか。私、前に頂いた資料では87.6%ということが出ておるんですけど、違いましたか。コンマ幾つがいいか悪いかというのはちょっとあれなんですけれど、私、お聞きをしたいのは、令和5年度末の数字というぐらいのことをお聞きしたいんですよ。令和6年度予算のことですから。

◎福井輝夫会長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

令和4年度決算値で86.9%となっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

決算値は86.9%ですけれども、今回の令和6年度予算につきましても、予測といいますか目標としまして、令和5年度の9月末で半期業務報告の際に87.1%という答えが出ておりますので、低くちょっと見とって申し訳ないんですが、予測としましては、その数値を基に87.1%ということで令和6年度予算は見込んでおります。以上です。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

このあたり、漏水のこと、有収率のことも関係してくると思うんですけれども、結果的には収入に変わってくる話だと思うんですけれども、ビジョンではもう90%以上、目標値になっとったのではないかなと思うんですけれども、そのあたりいかがでしょうか。

◎福井輝夫会長  
上下水道部長。

●成川上下水道部長

令和元年度からスタートした今の現在の水道事業ビジョンでは、今、委員言われましたように、有収率が年々上がっていった数値になるであるという目標を立てておりました。これまでもちょっと御報告させていただいておりますが、配水量を量る流量計の故障というのがありまして、配水量がカウントされていなかったということがありまして、それで正確に量れるようになった状況で有収率をこの数年算定しとるんですけれども、やっぱり目標値よりは実際は低かったということで、今回のビジョンの見直しでもちょっと下方修正させていただいております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

それが分かったということであれば、有収率もそうです。漏水率の低減もそうですけれども、どのような手当てをやっていくかということをやはり検討願いたいんですけれども、そのあたりをお答えいただけますか。

◎福井輝夫会長  
上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

有収率につきましては、当然、上げていかなければいけないというのは私らも十分認識しております。これまでもそういった戸別の漏水調査をしておりました。今後さらに、先ほど御紹介いただきました、衛星を使った調査、そういったものも取り入れるということ

も検討をする。また、今も、消火栓等でその音を測って漏水を調べるというような方法にもチャレンジをしております。そういったこともいろいろ、新しい技術も踏まえながら、新しい有収率の向上に努めてまいりたいと、このように考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

繰越金の話を申し上げたいんですけど、5億9,000万円からの繰越しがあったということで、工事費の関係を見させてもらったんですけども、これはどこのどういう理由でこの繰越しが発生したのか教えてください。

◎福井輝夫会長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

令和5年度の繰越しでございます。令和5年度の繰越額は、先ほど委員おっしゃいました5億9,000万円となっております。経済対策の国の補正予算を除くと3億4,700万円程度となりまして、支障管移設など発注時期に制限がある工事以外の早期発注を心がけまして、先ほど申し上げました国の補正というのを除きますと、昨年度の繰越率よりも少なくなる見込みでございます。

繰越しの内訳ですけれども、国補正、あるいは支障管移設、緊急的な修繕によるものなどで25件程度を今現在予定しております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

その繰越しの理由をちょっとお伺いしたいんですけども、代表的な高額な繰越しのところを教えてください。

◎福井輝夫会長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

大きなところにつきましては、当然、41%を占めます国補正になってきておりまして、これが内訳といたしまして10件ございます。やはり支障管移設に伴います繰越しというのが、今現在6件程度、23%程度予定しております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

毎年、ある程度は繰越しも国の補正で出てくるということは私も認識をしとるんですけども、やっぱり繰越しが当たり前のようになってはいかん話なので、それに対してこの改善策というのをどのように構えておるかということが非常に大事なかと、こんなことを思います。そのあたりのことは答えを持ってみえるんでしょうか。

◎福井輝夫会長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

支障管移設などやむを得ん場合を除きまして、発注時期に制限がないものにつきましては、当然、早期発注を行っていくと。額の当然大きなものの工事につきましては早期発注しまして、年度内に完成するように心がけると、まず早期発注に心がけるということを肝に銘じております。

あと、繰越しで多い支障管移設でございますが、これにつきましても、施業者と事前調査とか工程調整というのを今以上に、繰越しを1本でも2本でも少なくなるように調整を、強化を十分にしたいと考えております。また、当然、1年を超えるような内容の工事につきましては、債務負担行為を活用させていただきまして、2か年にわたる工事にしたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

いろいろと水道事業で御質疑を申し上げたんですけど、実際にはやはりビジョンのほうで、令和11年頃になるともう値上げをしていかならんみたいな、今、計画になつとるわけですね。以前から申し上げておるんですけど、その令和11年が妥当かどうかは別としても、それがやはり延伸して令和15年までは何とかやれましたよというようなところへ持っていくための努力というのをやっていただかんと、もう令和11年を待つとるような話ではいかんと思うので、それと、繰越しの、いわゆる内部留保資金ももう本当に枯渇を、その時期になってくるとしてくるといようなことも言われておると、やはりもうそれは仕方がないやというように既成事実化してしまうということは、非常に我々市民から見て、議会も納得するような話じゃないと思うので、将来に向かっての削減をどのように事細かくやって、令和11年で上げざるを得んのを令和15年、令和16年と、こう延伸できるような、延びるような状況のことをどのようにやっていくんか、そのあたりだけお聞かせを願いたいと思います。

◎福井輝夫会長  
上下水道部長。

●成川上下水道部長

今回、ビジョンの見直しを行いまして、将来的な見込みということもお示しをさせていただきました。非常に将来的に厳しい状況が続くということは、もう重々認識をしております。収入面におきましては、やはり人口減少等で、これまでもずっと年間2,000万円から3,000万円程度、水道料金が減ってきていると、そういう見込みは今後も続くというところがあります。

そこで経営状況を安定させようと思うと、やはり経費削減のほうに当然目を向けていかなければいけないというふうに思っております。例えば委託業務の見直しであるとか、広域化によるスケールメリットを生かして経費を減らしていくということも、これまでも申し上げておりますけれども、そういったところに特に力を入れて、少しでも経費の削減、そして安定的に資金ショートしないような状況を今後も継続していけるように努力をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

◎福井輝夫会長  
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長  
他に発言もないようでありますので、議案第9号の審査を終わります。  
次に、309ページをお開きください。

「議案第10号 令和6年度伊勢市下水道事業会計予算」を御審査願います。  
この議案の審査についても、一括で御審査願います。

#### ☆議案第10号 令和6年度伊勢市下水道事業会計予算

◎福井輝夫会長  
御発言はありませんか。  
野口委員。

○野口佳子委員  
すみません。

令和6年度当初予算書の317ページの款、資本的支出、項、建設改良費のところでお聞きします。

1点目には、財政が厳しいときであります。市民にとってはとても必要な公共工事であると考えています。昨年11月の産業建設委員協議会で、城田学区、栗野地区の下水道区域が見直しになるとのことでありました。今後、城田学区、栗野地区で開発等があれば、下水道計画の変更、事業の見直しとなることはあるのでしょうか。

2点目には、人口減少の中……

◎福井輝夫会長

一問一答でお願いします。

下水道建設課副参事。

●川面下水道建設課副参事

前回、昨年11月の産業建設委員協議会のほうへ下水道計画の見直しを御協議賜りました。この件に関しまして、経済比較によりまして合併浄化槽が有利となるような区域を下水道から合併処理浄化槽のほうへの変更をさせていただきました。委員おっしゃられるように、開発など社会情勢等の大きな変化がある場合には、再度見直しのほうもさせていただきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

野口委員。

○野口佳子委員

分かりました。よろしく願いいたします。

それでは、2点目なんですけど、人口減少の中、費用対効果は考えていかなければならないとありますが、令和6年度当初予算説明資料別冊の45ページで、下水道未普及地域の解消となっています。地域によっては、下水道から合併処理浄化槽となったところもありますが、地域格差につながらないか、下水道の今後の方向性をお伺いいたします。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●川面下水道建設課副参事

下水道に関しましては、第2期伊勢市生活排水対策推進計画に基づきまして、生活環境の改善と公共用水域の水質保全という目的のために計画を変更いたしました。地域の特性や状況に応じた最適な処理方法の見直しを行ったところでございます。

下水道の方針なんですけれども、今後、残っている地域や既に事業化を行っている区域につきましては、引き続き整備のほうを進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

野口委員。

○野口佳子委員

分かりました。

それでは、下水道事業として、地震災害や大雨災害に備え、訓練や研修などを行っていると思います。先日の全員協議会資料にも記載のあった、事前に実施していた訓練や各所

との関係構築などについて、今後どのように考えているのか教えてください。

◎福井輝夫会長

下水道施設管理課長。

●森本下水道施設管理課長

それでは、お答えいたします。

今現在、三重県下水道部局と宮川流域下水道の市町で連携し、令和3年度から災害時対応の合同訓練を行っているところでございます。また、水害時の情報の共有を目的とした訓練や、三重県下水道公社との災害時の研修会に参加するなど、日頃から災害時に備えた関係性を構築しております。

能登半島地震への職員派遣から、合同訓練による経験や知識によって、現地での調査をスムーズに行うことができたとの報告も受けており、今後も災害等への備えとなる訓練等を継続しながら人材育成に努めてまいりたいと考えております。以上です。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。

北村委員。

○北村勝委員

一括でよろしいですね。

◎福井輝夫会長

はい、そうです。

○北村勝委員

ここで、すみません、こちらの予算説明資料の121ページの中で、資本的支出の中で、雨水管渠敷設事業、それからポンプ場築造事業ですか、この概要の中に、市街地の浸水被害軽減のための雨水施設の整備計画を策定するというのは書いてございますが、策定するってどのようになっているのか少しお聞かせください。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●岡井下水道建設課副参事

現在、浸水対策としまして、勢田川流域等浸水対策実行計画の短期事業に挙げております、黒瀬ポンプ場のポンプ増強及び桧尻2号幹線排水路の整備を進めております。黒瀬ポンプ場につきましては、令和6年5月に完成をする予定となっております。また、桧尻2号幹線排水路におきましては、令和9年の完成に向け、今年度に工事着手したところでございます。そうしたことから、今後は、実行計画の中長期計画としての整備方針を検討してい

きたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

分かりました。ありがとうございます。今の答弁で、今後、実行計画の中長期計画を、そういった整備の方針を検討いただくということで確認させていただきました。

整備方針を検討ということですが、先ほど午前中の土木費の河川費で、排水機場維持管理経費のポンプ場更新ということで少しお尋ねさせていただいて、そのときに、船倉ポンプ場の更新をということで、今回していただくというふうに聞きました。

せんだって、以前にもですが、私、聞かせていただいて、昭和43年でしたかね、農林水産課のほうにポンプがあると。船倉の中では2つのポンプがありまして、昭和43年には、農林水産課が設置した140トンの機能を持ったポンプがあつて、もう一つが、平成15年ですか、これが土木のほうで追加して、今回、そういった土木のポンプを更新していただくということで、長期計画の中で更新をしていただくと。

ただ、そのときに、当然、上流のほうで浸水対策、浸水で、よく雨が降ると洪水、たまって被害が出るということで、そういった問題がずっと以前からありまして、小木川のほうの河川を少し今工事をして、改修をしていただいているところではございますが、抜本的に考えると、やっぱり将来のことも考えると、このポンプの機能を向上して、もう少し機能を上げていただくことが必要ではないかというふうに考えるわけなんです。そういったことを考えると、船倉ポンプ場の周辺の検討についてどのようにされているか、少し確認だけさせていただきます。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●岡井下水道建設課副参事

委員仰せの船倉ポンプ場の周辺、こちらにつきましても、今後の検討の中に含めて、勢田川流域の全体の整備方針を決めていくものであります。また、この整備方針については、国・県、こういったところと連携が必要となりますことから、そういった国・県と連絡を密にしながら整備方針のほうを決めていきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

北村委員。

○北村勝委員

分かりました。当然、整備計画の中に検討していただきながら、予算もあります。調整もしていただく必要がありますので、そういったことを念頭に置いて、洪水対策について

事前に、早期に対策ができるような形で御検討していただいて、進めていただくようお願いいたします。以上です。

◎福井輝夫会長

他に御発言はございませんか。  
宿委員。

○宿典泰委員

ただいまの北村委員の船倉のポンプ場の話ですけれども、これは何、増設するという意味でお答えされたんですか。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●岡井下水道建設課副参事

増設をするというよりも、今後、中長期で次にどういったところの整備をしていくか、こういったところの検討の中の一つに、そういった船倉ポンプ場の流域、こういったところも検討の一つに含めていくということで回答させていただきました。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

施設は、更新をするということだけでしたよね。多分、午前中の土木のほうで、ニュアンスとして、増設というとポンプを増やすような話ですけれど、ポンプを大きくするという話はなかったと僕は記憶しとるんですけれど、今のやり取りを聞いておると、市民の方も、何か増やしてとか、増設とか、何かというように勘違いするといかんで、ちょっと留めさせてもらったんですけれど、船倉はどうなるか。

◎福井輝夫会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

ただいま委員おっしゃいましたとおり、午前中の件につきましては、更新、老朽化対策が中心となっています。今説明申し上げましたのは、今後の整備という中で、今、勢田川流域等浸水対策実行計画というのをやっています。今、短期計画をやっていますけれども、その中長期計画、次の計画というところで検討に入るというところでございます。ですので、午前の部分とはまた別の話ということでございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

はい、分かりました。

流域関連の伊勢市の公共工事の全体計画の見直しというのが1月にあって、多分このようにやっていくんだらうと思うんですけども、今まで、下水道が来るかなというところが、見直しがあって、合併処理浄化槽にそのまましてくださいよとか、つけていないところは下水道を待たずに合併処理浄化槽にしてくださいという意味やと思うんですけども、そのような状況になったということで、その下水道区域から外れてしまった地域について、今まで、下水道が来るかなということで気にもしてもらったと思うんで、そのあたりの啓蒙というのか、そのあたりはどうなったかと。

もう一つあるのは、下水道が行きませんよということで、合併浄化槽にしてください、それはいいんですね。でも、それもしていないところの単独槽の方もみえるとすると、そこへも、もう一段、違う意味の支援をしていくというようなことも必要になってくるかも分かりませんので、どのように啓蒙していくかということをお教えください。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●川面下水道建設課副参事

今年の1月、上下水道審議会におきまして、その後、市民の皆様の方へお伝えしていくというようなお話をさせていただきました。見直しによりまして、下水道の処理する区域から合併処理へ変わった区域につきましては、今、地元の方へ案内を周知している最中でございます。これは環境課と共に行っておりまして、どのような方法で周知していけばいいのかということをお自治会長さんと共に話をしながら、各戸配布であったり回覧であったりとか、そういった方法で検討をさせていただいております。

それに併せまして、下水道の区域から変わるというような案内と、もう一度、環境課の方で、先ほど委員おっしゃっていただきましたような、合併処理浄化槽への転換補助金がありますと、ですので、個別から合併浄化槽へというような御案内のチラシも併せて啓蒙してまいりたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

その件は、環境問題もありますから積極的に出向いてやっていただきたいなど、こんなことを思います。

今回、下水道のほうも、42億7,900万円という多額の予算を組まれました。令和5年度から比較しても1億1,000万円ぐらい増えておるんですかね。1億1,000万円増額になっています。前回は申し上げましたが、令和4年度決算のときも17億1,000万円から繰

越しが行われて、令和5年度になって、令和5年度でまた41億6,000万円からの予算を組まれて、今回、11億7,000万円というて、また繰越しが出ました。これについての理由を教えてください。

◎福井輝夫会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

今年度も繰越しが見込まれるということで、いろいろと御心配をおかけしております。

令和5年度は、来週また審議されると思いますけれども、建設改良費36億円見込みの中で、繰越額は約11億7,000万円の見込みとなっております。繰越率にしまして32.5%、これにつきましては、令和4年度の繰越しと比べると額で5億4,000万円の減、率で15.9%の減となっておりますけれども、依然多い状況でもございます。

繰越しの理由といたしましても、やはり他の工事、これは民間の開発工事も多く含まれるんですけれども、そういったものとの重複による交通規制を避けるために、工事の発注時期をずらしたり、工事中の休止を行ったりもしているところでございます。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

今説明いただきましたけれど、令和4年度の繰越しと令和5年度の繰越しを比較するというのはどうかなと思うんです。繰越しはゼロに近いほうがいいので、令和4年度よりもよくなったから、それで繰越しがオーケーということではないので、令和4年度の繰越しとの比較をするという意味が僕はちょっと分からない。だから多分それは、前年度より繰越しが少なくなったよねということの意味なんかなということ今捉えたんですけれど、そういう話を私、申し上げとるわけではないんです。

やはり1年の中の単年度で、これは企業会計ですから、本来は、1年は1年の中で収支を決めていく。それでも、やはり国の対応で、予算はやっぱり国のほうの予算も取りたいということであれば、その分はやはり繰り越していくのは仕方ないかも分かりません。けれども、その他理由で繰越しがあったら、それ自体はやはり当局側の責任やと思うんです。

以前から繰越しを起こさないための話もしたじゃないですか。長い延長があるなら、3分割にして3業者にやっていただくとか。全部見てみたら、まだまだ余力があって、やっていただけるような業者さんもみえるとすると、その方らもフルに使って、1年間の工事を完了してもらったらどうですかというような言い方をしました。もちろんこれは入札制度の関係もあるので、一概に指名をしてというわけにはいきません。それもよく分かった中で申し上げておるんですけれど、やっぱりそのあたりのことをきちっと整理しないと、いつになっても、前年よりは少なくなりましたという話になってしまうんじゃないかなと思いますけれども、もう一度お答えください。

◎福井輝夫会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

委員言われるように、昨年よりも減ったというのは実績としてありますけれども、やはり限りなくなくすように近づけるのは当然というところは、私どもも考えるところでございます。

ただ、やはり下水道を今後、国の方針としても、令和8年度までに概成という方針がある中で、やはり補助金のほうの見込みがなかなか難しいという中で、私どもも、残された部分についてはやはり積極的に終わらす必要が、終わって下水道を完成させるというようなことをするべきやと思っていますので、やはりその点も含めまして御理解いただきたいと思っています。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

大変苦しい答えだと思うし、担当課にだけそれを申し上げて難しい話かも分かりませんが、何せいろんな手法を取ってくださいよ。繰り越さなくてもいいような手法を。何か繰り越すときにはいろんな理由をつけて、繰り越しの工事があるということも一度表に見せていただいたことがありますけれども、あの中にも調整が不十分みたいなことがあるわけですね。やはり発注するということは、いろんな調整、環境的なこと、地域のこと、コミュニティーのこととか自治会とのことも含めて全部整ってから発注するわけですから、実際は。そう私は思っていますから、それが途中でいろんなことが不調に終わったみたいなことはあり得る話ではないと思いますから、そういうことはやっぱり避けていただくようお願いをしたいと思います。

いつも申し上げておるんですけど、下水道の中には汚水仕事と雨水の仕事もあると思うんですけど、今回、この中で雨水の金額というのはお幾らほどになるんでしょうか。

◎福井輝夫会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

令和6年度の建設改良費が約42億8,000万円で、そのうち庁舎建設費が2億6,000万円ほどありまして、そちらを除きますと40億2,000万円ほどになります。このうち汚水事業が30億1,000万円で、大体74.9%で、雨水事業ですが、質問の答えになりますけれども、雨水事業が10億1,000万円ということで25.1%となります。以上です。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

雨水事業について、何か特段この令和6年度で頑張ったなというような予算になったのかどうか、ちょっとお聞きをしたいと思うんですけど。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●岡井下水道建設課副参事

どこをとといいますと、令和6年度につきましては、先ほど、勢田川の短期計画にあります桧尻2号幹線排水路、こちらのほうの工事、こちらのほうに今年度以上の事業を見込んでおります。また、先ほどもお話ししました次の中長期計画、これの方針を決めていこうというようなところに取り組む予定でおります。以上でございます。

◎福井輝夫会長

宿委員。

○宿典泰委員

桧尻川の2号なんですけれども、実際は完成が令和8年か何かのがちょっと延びてしまったん違うかなと思っておるんですけど、先般の何か勢田川流域のあれのちょっと資料を見せていただいたら、計画の完了年度が延びとるんですよ。国の事業も含めてやっておるからあれやと思うんですけども、僕はそうやってして見させてもらったんですけど、違いましたか。

◎福井輝夫会長

下水道建設課副参事。

●岡井下水道建設課副参事

事業が延びている内容としましては、恐らくなんですけど、桧尻川の河口部にあります排水機場、こちらの完成年度が予定よりも遅れたというようなことで、この前の協議会の中で報告がされておりますので、そのことかと思うんですが。

○宿典泰委員

理由は分からないですか。

●岡井下水道建設課副参事

理由としましては、工事着手したところ、いろいろと支障物が出てきて、そういったものの撤去、こういったものに時間と費用がかかるというようなことだったかと理解しております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

下水道の件については、非常に投資が先で回収が後になってくるということはよく理解をしています。ですので、水洗化率というところが一番重要になってくるんだとは思いますが、その点についてもなかなか進んでいないように見受けられます。下水道のその収支を合わすというのはなかなか難しい事業でありますけれども、どういった視点で運営のほうをやられておるか確認をしたいと思います。

◎福井輝夫会長  
上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

まず、下水道の自主財源であります下水道使用料の増収のためには、委員おっしゃっていただきましたように、普及率を上げて接続率も上げてやっていくのがまず第一だと考えております。

ただ、こちらも、委員、先ほど言っていただきましたように、初期投資にかなり多く経費がかかる下水道事業としましては、現時点でも整備を行っている段階でございまして、全体計画の見直しの後の事業を精査しますと、おおむね令和12年度までに汚水整備事業としては完了するのではないかという見込みも出てきておりますので、現時点の計画では基準外繰入れも一般会計から入れながら経営になりますけれども、この令和12年度まで初期投資ということで、これからも基準外繰入れが必要になってくる事業ではございますが、令和6年度に6期事業を進めるに当たりまして、現在の下水道経営戦略につきましては、令和8年度までの計画になっておりますので、令和12年度までに延ばした計画をお示しさせていただきます。その中で企業債の水準や基準外繰入れ、そういったものを精査しながらお示ししていきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長  
宿委員。

○宿典泰委員

分かりました。令和12年まで延ばすということをお聞きしました。繰越しがあるので、そういうことになったということではないとは思いますが、何せ下水道の関係の事業費が、令和6年度が終わると955億円、投資をするわけですね。企業債についても、この令和6年度が37億円以上、企業債残高があるということになってきて、まあまあどうしていくんだろうというような、人口は減ってくるし、下水道の仕事は、今言われたように令和12年まで進んでいくということになったら、家計の負担のほうも、水道と同時に下水道使用料もうんと上がってくるのではないかなというようなことを大変危惧します。そ

のあたりのことが、やっぱり市民に安心感を持たすような下水道事業でないかと困るのではないかなと、こんなことを思うんです。

それに、やはり年度末の留保資金についても、もう枯渇をこれもしてくるのではないかなと、こんなことを思うと、やはりその運営について、よっぽど発注のことであつたりとか全体的な行財政改革であつたりとか、そういったことを入れていただかんと、なかなか難しい話にならんのかなと。もうあと、令和12年というてくると、ちょうど水道が値上がりするような時代、ことですから、水道も上がるということは、下水道も上げて何かしていくんかなということで、やはりこれを聞いておつたら、もう市民の人は本当に心配になると思うんですよ。

やはりそのあたりのことを、水道でも申し上げたように、少しでも延ばして、いい結果、また企業債もできるだけ、使わずにというのは難しい話だとは思いますが、一般会計からどんどん持っていつているじゃないですか。18億9,000万円からもう20億3,000万円まで、5,000万円大きくなっていますから、また令和7年度になったら5,000万円ぐらい入れるんかな。ちょっとあまり夢のない話ばかりしても申し訳ないんやけれども、やっぱり現実論としては、収支が合うように、こうやっていただきたいと思うんですけれども、最後にお答えをいただけませんかでしょうか。

◎福井輝夫会長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

下水道事業に関しましては、本当に先ほど課長からもお答えしましたとおり、独立採算という観点ではまだまだの状況でございます。一般会計から助けていただいて成り立っているのが現状であります。

委員からも先行投資ということをお願いしましたがけれども、前に整備を行って供用開始しております宇治中村地区の実績でいきますと、供用開始から6年、7年かかって接続率が90%。ということは、整備にお金を投資してからそのぐらいたって、そのぐらいになると。本来は速やかにつないでいただきたいというのが実感なんですけれども、なかなかやっぱりそういった期間を要するわけですね、最大限の効果を発揮するには。

そういった事業でありますので、ちょっとまだまだ令和12年ということでもうしばらく整備が続くわけでありまして、ちょっと厳しい経営状況でありますけれども、市として何とか、一般会計側とも我々も協議もさせてもらって、経営のほうを頑張って、当然、経営改善という意識を持って今後とも精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

◎福井輝夫会長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、議案第10号の審査を終わります。

次に、企業会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

**【企業会計の自由討議】** 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、令和6年度予算全体中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

**【令和6年度予算全体の自由討議】** 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

分科会の審査が終わりました。

ここで各議案について皆さんの賛否を確認したいと思います。

反対する議案がありましたら教えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

ありがとうございます。

以上で、本分科会に振り分けられました案件の審査は終わりました。

委員の皆様におかれましては、円滑な審査に御協力をいただき、ありがとうございました。

お諮りいたします。

会長報告分の作成については、正副会長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

それでは、これをもって予算特別委員会産業建設分科会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後3時07分

上記署名する。

令和6年3月1日

会 長

委 員

委 員